

まちづくり評価報告書

平成16年4月

美 唄 市

目 次

1. はじめに	P1
2. まちづくり評価報告書について	
(1)まちづくり評価とは	P2
(2)まちづくりの現状について	P2
(3)「まちづくり評価」の方法について	P3～P4
3. 市の行財政の現状について	
(1)行政の現状について(まちづくりプランの進捗状況)	 P5～P20
(2)財政状況について	P21～P23
4. まちづくり評価(福祉・環境・交流の評価)について	
☆福祉のまち	P24～P27
☆環境のまち	P28～P31
☆交流のまち	P31～P34
★まちづくり全体評価	P34～P35
●資料編	
I 資料の補足説明	P38
II 「福祉」「環境」「交流」に関する目標達成度の傾向	 P39～P41
III 「福祉」「環境」「交流」に関する各目標値及び達成度	 P42～P55
* 近隣・類似都市との比較(人口・財政状況等)	P56～P62

は じ め に

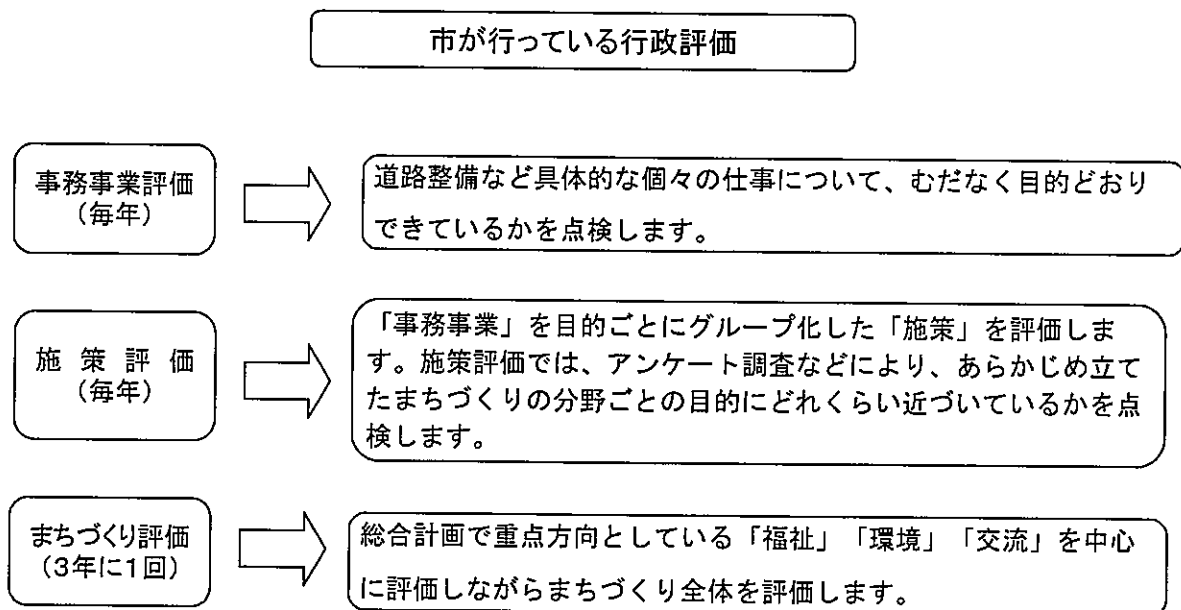
美唄市では、平成13年3月に今後10年間の新たなまちづくりの基本方向を明らかにする「美唄21世紀まちづくりプラン（第5期美唄市総合計画）」を策定するとともに、その前期基本計画（H13～H17）を推進していくために、事務事業評価システムを導入して全庁的な取り組みとして進めています。

事務事業評価システムは、事務事業を実施する上で投下した人的、財政的投資に対して、目標とした効果を達成できているかどうかをチェックし、より質の高い行政サービスを目指していく仕組みです。

本市の事務事業評価システムは、まちづくり評価・施策評価・事務事業評価の三階層になっていますが、これは、まちづくりの方針に基づいて施策体系が展開され、展開された各施策の目的に沿って事務事業を構成し実施するという考え方に基づいているからであり、互いに関連付けられて評価の結果を生かす仕組みとするためです。

以上のような考え方に基づいて、段階的に平成13年度から事務事業を評価する事務事業評価を導入し、平成14年度からは事務事業の上位に位置付けられる施策の評価を行い、本年度はさらに上位のまちづくりの評価を学識経験者や市民の方で構成される美唄市行政改革推進委員会の皆さんのご協力をいただきながら行いました。

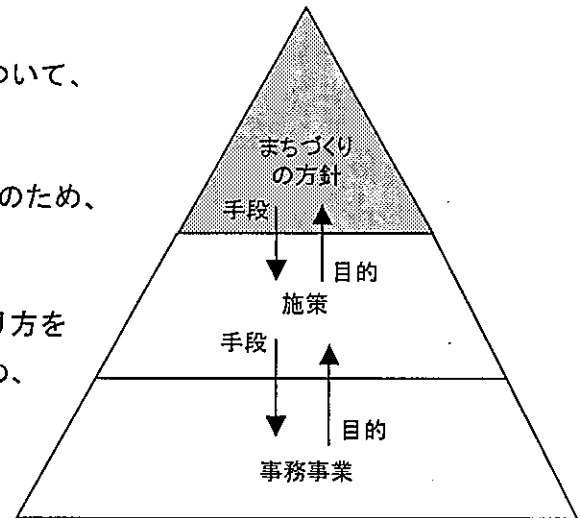
このまちづくり評価は、3年に1回行うこととしておりますが、今後もさらによりよい制度としていきたいと考えておりますので、市民の皆さんのご意見ご感想をお待ちしております。



1. まちづくり評価報告書について

(1) まちづくり評価とは

- これまで市では、「事務事業」と「施策」について、評価を行ってきました。
- 「事務事業」と「施策」は、市自らの仕事の点検のため、毎年、内部評価で行っています。
- この評価結果は、市民の皆さんと市の仕事のあり方を議論するための「道具」としても使っていくため、すべて公表しています。



* 事務事業：具体的に予算が付いた個々の仕事をいいます。

* 施策：事務事業を目的ごとに束ねたものをいいます。施策から見ると事務事業は、施策を実現するための手段になります。

* 公表の場所等：行政資料室（市役所2階）でご覧いただけます。また、市のホームページでも概要を見ることができます。

- 「まちづくり評価」は、「事務事業評価」「施策評価」の結果を踏まえ、美唄のまちづくり全体を3年に1回、市民の側（視点）から点検してもらうものです。
- まちづくりを評価する上で、特にポイントなのは、市が総合計画（H13～H22）で重点方向としている「福祉」「環境」「交流」の分野です。
- そこで、この3つの分野を中心に、評価を行うこととしました。

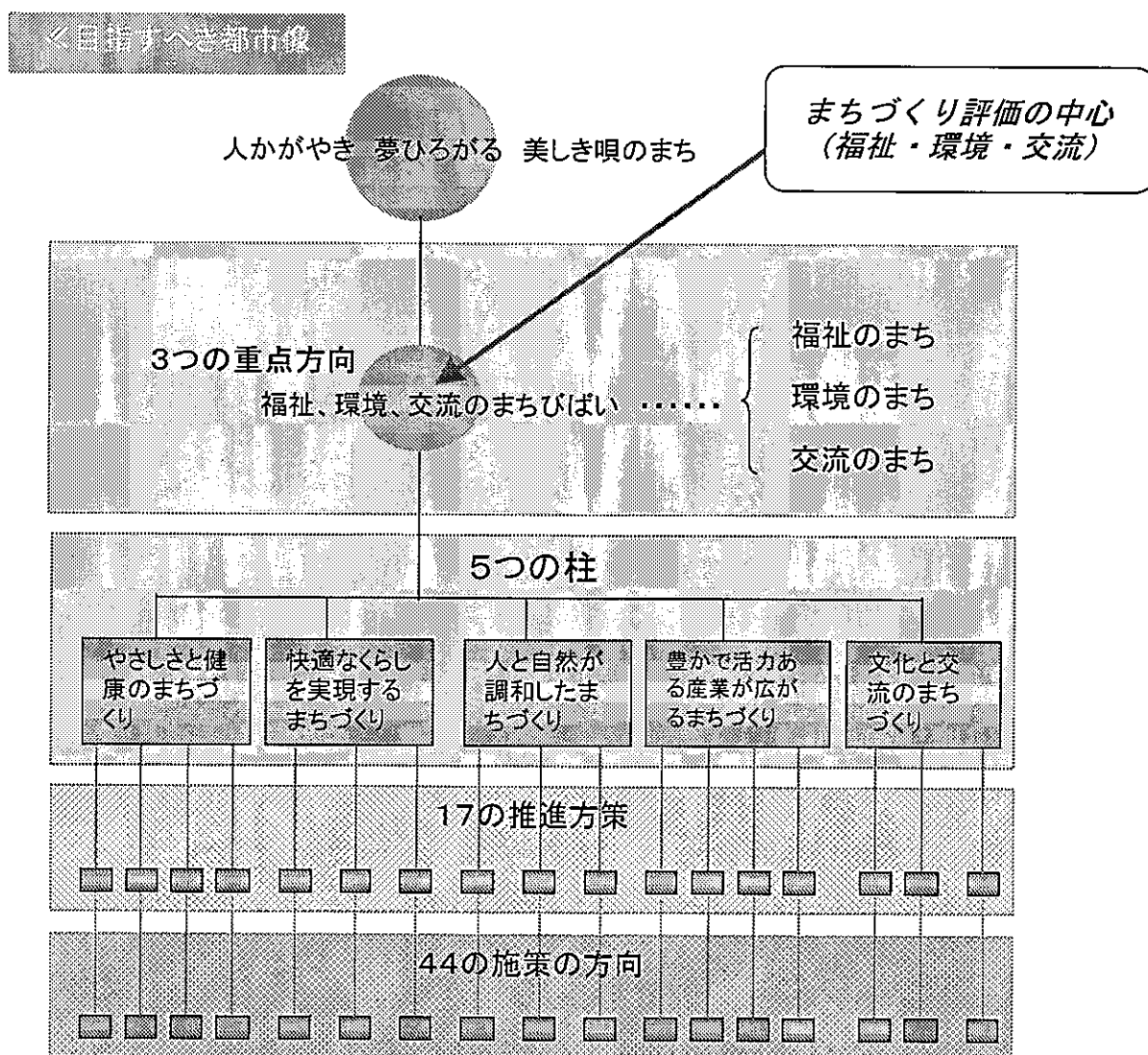
(2) まちづくりの現状について

- 市では、「美唄21世紀まちづくりプラン（第5期美唄市総合計画）」をつくり、これに基づいて、計画的にまちづくりを進めています。
- この「まちづくりプラン」前期基本計画の進捗率は、平成14年度末の事業費ベースで、40.0%となっています。
- また、「まちづくりプラン」では、それぞれの分野の進み具合を測るため、44の目標値を定めています。その達成状況をグラフなどで掲載しました。
- 市の財政状況も重要なまちづくりの要素なので、あわせて掲載しました。

(3) 「まちづくり評価」の方法について

- まちづくりの現状を押さえた上で、「福祉」「環境」「交流」の各分野について、設定している指標を使って、市民アンケート結果などから達成度を点検します。
- また、これらの達成度と今後の方向性について、行政改革推進委員会からのコメントをもらいます。
- 同委員会は、これまで市の仕事の効率化と市民サービスの向上を目指し、協議をし、市に行政改革についての提言を行っています。
- このように市の仕事に詳しい同委員会に、市民の代表として、コメントをお願いすることにしました。

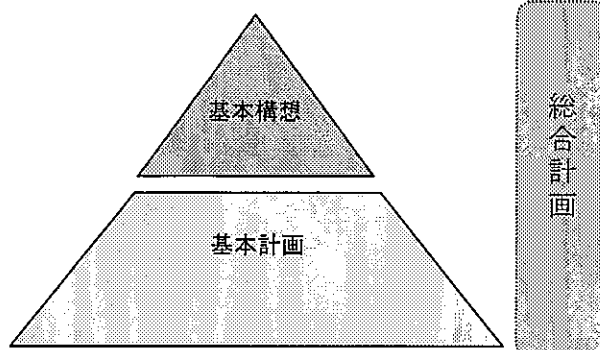
美唄21世紀まちづくりプラン(総合計画)における 前期基本計画(H13~H17)の施策体系



美唄21世紀まちづくりプランについて

美唄市の第5期総合計画のこと。

基本構想の期間は、H13年度～H22年度の10年間。基本計画は、前期計画及び後期計画に分け、後期計画については、前期計画の推進状況や社会経済情勢の変化を踏まえて、策定することとしている。現在はH13年度～H17年度までの前期計画が進行中である。



* 目指すべき都市像と3つの重点方向について(補足説明)

(美唄21世紀まちづくりプラン P9より)

美唄21世紀まちづくりプラン（以下「まちづくりプラン」といいます。）では、目指すべき都市像として「人かがやき 夢ひろがる 美しき唄のまち」を掲げています。

この都市像は、「美しい自然や街並みの中で、産業の振興や特色ある市民文化の形成を図りながら、市民一人ひとりがいきいきと活動でき、日々の暮らしに喜びを実感できるまち」のことです。その都市像の実現のために「将来にわたり重点的に取り組まなければならない大きな課題として、少子高齢社会に対応したしくみづくり、環境を守り快適にくらす仕組みづくり、交流によるまちの活性化」をあげています。このため、まちづくりの重点方向を「福祉、環境、交流のまちびばい」としているものです。

まちづくりプランは、このように将来の都市像実現に向けて3つの重点方向を定め、これに沿って、5つの柱、17の推進方策、施策の方向を展開している美唄のまちづくり戦略をまとめているものであり、将来の美唄のまちづくりの基本方向を市民の皆さんに示しているものです。

2. 市の行財政の現状について

(1) 行政の現状について(まちづくりプランの進捗状況)

ここでは、美唄市のまちづくりプラン(総合計画)に基づき、前期基本計画に掲載されている主な施策に対する数値目標に対して、平成14年度において、どの程度達成されているかを市民の皆さんにお知らせすることになります。(まちづくりプランに掲載のまちづくりの「5つの柱」の説明をした後で、関連する施策に対する数値目標とH14年度の現状等を掲載するとともに、H14年度の内訳について表やグラフであらわします。)

5つの柱: その1 【 やさしさと健康のまちづくり 】

少子高齢社会に対応し、市民が生涯にわたり、健康で安心して幸せな生活を送ることができる福祉のまちづくりを進めるため、子どもが健やかに産まれ育つ環境づくりに取り組むとともに、保健・医療・福祉の連携を強め、ライフステージ(人生の各段階)に応じた健康づくりや多様な需要に対応した高齢者福祉や障がい者福祉の充実を図るなど、やさしさと健康のまちづくりを進めます。

(まちづくりプランP12より)

* まちづくりプランに掲載の目標値に対する達成状況

5つの柱	17の推進方策	施策の方向	項 目	a 目標値(H17)	b H13	c 現状値(H14)	d 達成率% c/a
I やさしさと健康のまちづくり	1 安心して子育てができる環境づくり	(1) 総合的子育て支援の推進	1 子育てサークル数	10サークル	3サークル	8サークル	80.0%
		(2) 子育て環境の整備	2 子どもセンター利用者数	年間2,400人	データなし	データなし	—
	2 ライフステージに応じた健康づくり	(1) 生涯にわたる健康づくりの推進	3 健康づくり組織数	12組織	10組織	11組織	91.7%
		(2) 医療の充実	4 市立病院医業収支比率	97.5% (100%を下方修正)	81.2%	86.1%	88.3%
	3 障がい者や高齢者にやさしいまちづくり	(1) 障がい者の自立と社会参加の推進	5 障がい者グループホーム数	17ホーム	13ホーム	14ホーム	82.4%
		(2) 高齢者の自立と生きがいづくりの推進	6 要介護高齢者率	12%以下	12.7%	14.4%	目標未達成 (2.4ポイント超過)
		(3) 国民健康保険事業等の運営	7 国民健康保険税収納率(現年課税分)	92.0%	88.5%	89.9%	97.7%
	4 ふれあいと笑顔のコミュニティづくり	(1) コミュニティ活動の推進	8 地区ふれあい広場事業実施回数	年100回 (各館年5回以上)	年13回	年13回	13.0%
		(2) 地域福祉・ボランティア活動の促進	9 ボランティアセンター団体登録数	18団体	28団体	29団体	161.1%
			9-2 ボランティアセンター個人登録者数	200人	88人	123人	61.5%

《現状値(H14)等の内訳》

1 子育てサークル数～目標値:10サークル

H15年3月末現在	
名 称	会員数(人)
1 エンジェルキッズ	19
2 さくらグループ	41
3 くまグループ	12
4 アンパンマングループ	60
5 ひまわりグループ	27
6 キティグループ	30
7 トーマスグループ	8
8 チューリップグループ	12
計 8 サークル	209

資料:児童家庭課

2 子どもセンター利用者数～目標値:年間2,400人

◆施設概要

設置年度:平成13年度

設置場所:美唄市教育委員会内

設置目的:週末や夏休み等に、子どもや親子のできる活動の紹介、情報提供を行う。

事業内容: ①情報提供～インターネット、FAX等により情報提供。

②情報誌の作成・配布～年4回発行、学校、公共施設等で配布。

③相談業務～体験活動等に関する紹介や相談を受ける。

項 目	H13年度		H14年度	
	件 数	備 考	件 数	備 考
ホームページアクセス数	データなし		データなし	
情報誌配布数	6,000部		5,000部	

* 子どもセンターのホームページのアクセス件数については、H15年9月10日よりカウントを開始しました。

資料:生涯学習課

3 健康づくり組織数～目標値:12組織

H15年3月末現在	
名 称	
1 保健推進員協議会	
2 食生活改善推進員	
3 運動推進員	
4 健康になろう会(健康づくりサークル)	
5 2000年の会(")	
6 さくらの会 (")	
7 スマイルの会 (")	
8 スリムの会 (")	
9 いちご会 (")	
10 おやじグルメOB会(")	
11 精神保健ボランティア「たけのこ」	
計 11組織	

資料:健康推進課

4 市立病院医業収支比率～目標値:97.5%

年 度	a 医業収益	b 医業費用	c 医業収支比率 a/b %
平成11年度	2,669,301,586円	3,197,759,780円	83.5%
平成12年度	2,594,255,829円	3,110,103,862円	83.4%
平成13年度	2,510,760,550円	3,091,741,628円	81.2%
平成14年度	2,507,649,538円	2,912,620,277円	86.1%

資料:市立病院事務局(決算統計数値から)

5 障がい者グループホーム数～目標値:17グループホーム

H15年3月末現在

名 称	設立年	定員
第一グループホーム	平成元年	6
西町グループホーム	平成2年	4
グループホーム1991	平成3年	4
旭東グループホーム	平成4年	6
東7条寮	平成5年	5
新川グループホーム	平成7年	6
みしなグループホーム	平成8年	4
宮森寮	平成8年	4
グループホームカインド	平成8年	4
三条ホーム	平成10年	4
有明グループホーム	平成11年	4
菜の花グループホーム	平成11年	4
グループホーム南美	平成11年	4
グループホームSYONAN	平成14年	5
計 14 ホーム		64

資料:福祉課

6 要介護高齢者率～目標値:12%以下

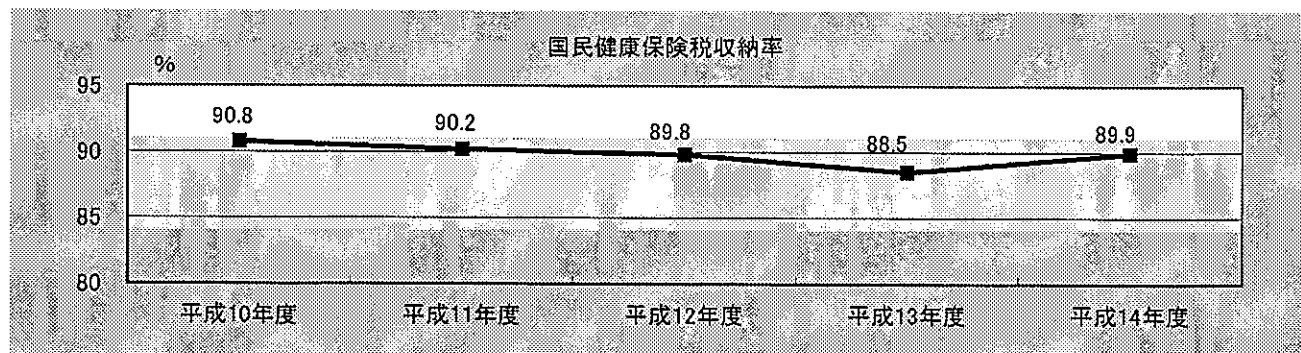
年 度	a 第一号被保険者数	b 要介護(要支援)認定者数	c 要介護高齢者率 b/a %
平成12年度	7,988人	874人	10.9
平成13年度	8,092人	1,031人	12.7
平成14年度	8,195人	1,177人	14.4

資料:高齢者介護福祉課

7 国民健康保険税収納率(現年課税分)～目標値:92.0%

年 度	a 調定額	b 収入済額	c 収納率 b/a %
平成10年度	960,835千円	871,980千円	90.8
平成11年度	976,424千円	880,925千円	90.2
平成12年度	980,611千円	880,648千円	89.8
平成13年度	898,241千円	794,878千円	88.5
平成14年度	949,329千円	853,599千円	89.9

資料:市民課



8 地区ふれあい広場事業実施回数～目標値:年間100回以上(各館年5回以上)

年 度	事業内容	
平成14年度	茶志内地区での世代間交流事業	2回
平成14年度	茶志内地区でのJR駅舎の塗り替え	1回
平成14年度	日東地区でのふれあい昼食会	3回
平成14年度	日東地区での自主防災組織の設立	4回
平成14年度	共練地区での「いきがい農園」造成のための調査・検討会議	3回
	計13回	

資料:福祉課

9 ボランティアセンター団体登録数・個人登録者数～目標値:18団体、200人

H14年度末:団体登録数 29団体(構成員合計2,717人) 個人登録者数123 人

資料:美唄市社会福祉協議会

5つの柱 その2 【 快適な暮らしを実現するまちづくり 】

快適な都市環境を創出し、安全な市民生活を確保するため、景観に配慮した、うるおいとゆとりのある快適環境の向上に努めるとともに、安全で安心できる生活環境の整備を推進するなど、快適な暮らしを実現するまちづくりを進めます。

(まちづくりプランP13より)

* まちづくりプランに掲載の目標値に対する達成状況

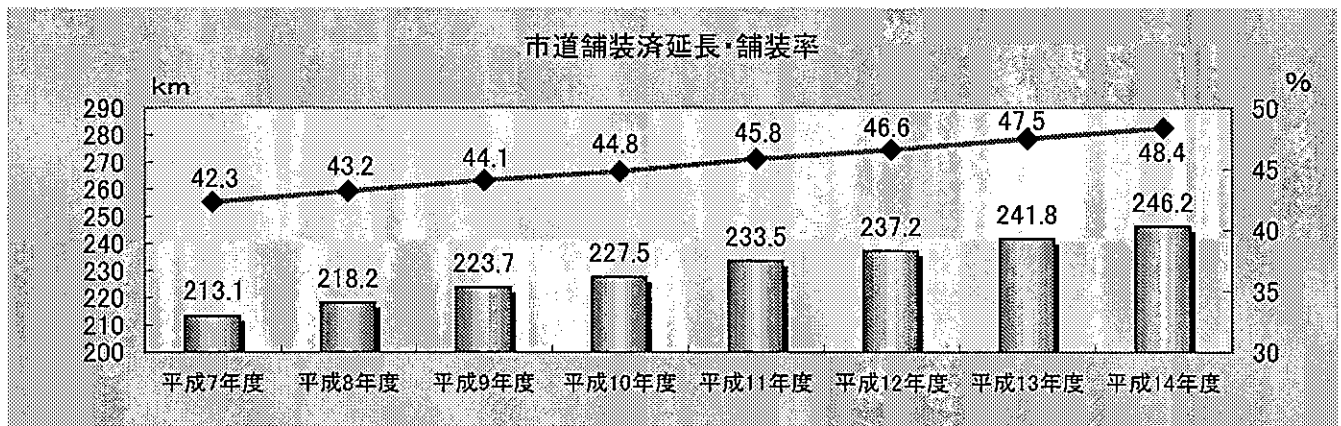
5つの柱	17の推進方策	施策の方向	項 目	a 目標値(H17)	b H13	c 現状値(H14)	d 達成率% c/a
Ⅱ 快適な暮らしを実現するまちづくり	1 快適な都市環境づくり	(1) 都市基盤の着実な整備	10 市道舗装率	50.0%	47.5%	48.4%	96.8%
		(2) 快適な生活環境づくりの推進	11 下水道普及率	64.7% (74.7%を下方修正)	61.1%	62.8%	97.1%
	2 やすらぎを感じる緑づくり	(1) 公園・緑地の整備	12 市民1人当たり公園面積	20.0㎡	21.7㎡	21.8㎡	109.0%
		(2) 緑化の推進	13 市民植樹祭参加者数	年間100人	年間100人	年間120人	120.0%
		(3) 森林の維持保全	14 森林面積の維持	12,348ha	12,347ha	12,338ha	99.9%
	3 安全で安心な地域づくり	(1) 犯罪や交通事故のないまちづくり	15 交通事故発生数1割減	99件	106件	100件	目標未達成 (1件超過)
		(2) 消費者の権利擁護	16 消費生活講座参加者数	年間300人 (150人を上方修正)	年間257人	年間171人	57.0%
		(3) 防災・消防機能の充実	17 自主防災組織数	10団体	5団体	6団体	60.0%

《現状値(H14)等の内訳》

10 市道舗装率～目標値:50.0%

年 度	a 市道延長 km	b 舗装済延長 km	c 舗装率 a/b %
平成7年度	503.4	213.1	42.3
平成8年度	505.0	218.2	43.2
平成9年度	506.7	223.7	44.1
平成10年度	507.8	227.5	44.8
平成11年度	509.6	233.5	45.8
平成12年度	509.4	237.2	46.6
平成13年度	508.7	241.8	47.5
平成14年度	508.8	246.2	48.4

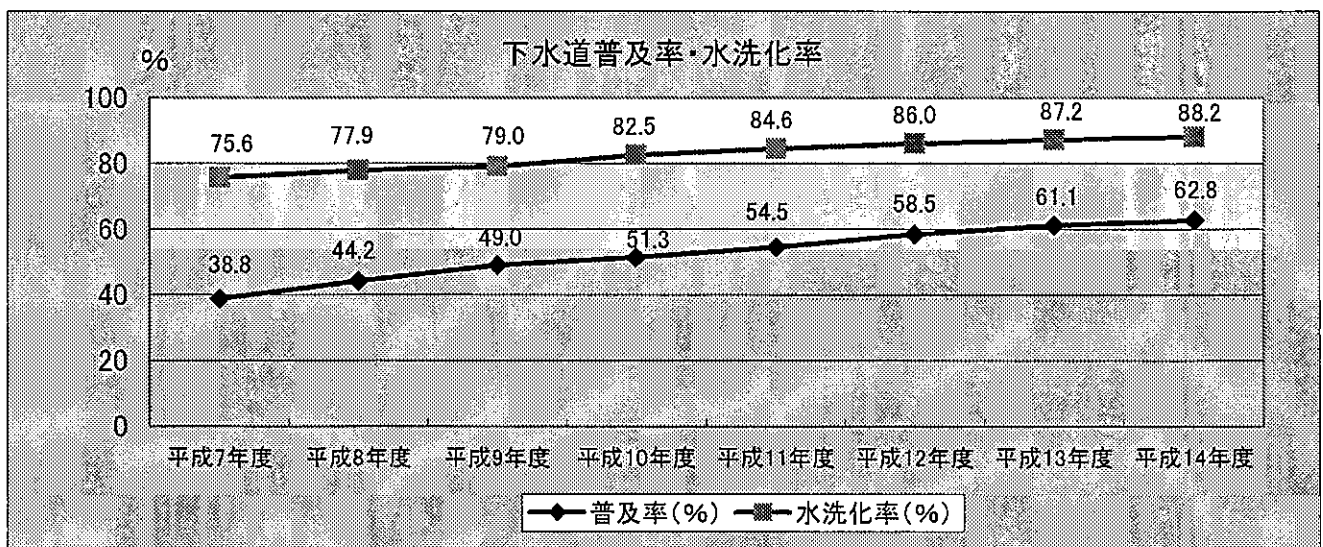
資料:都市計画課



11 下水道普及率～目標値:64.7%(74.4%を下方修正)

年 度	普及率(%)	水洗化率(%)
平成7年度	38.8	75.6
平成8年度	44.2	77.9
平成9年度	49	79
平成10年度	51.3	82.5
平成11年度	54.5	84.6
平成12年度	58.5	86
平成13年度	61.1	87.2
平成14年度	62.8	88.2

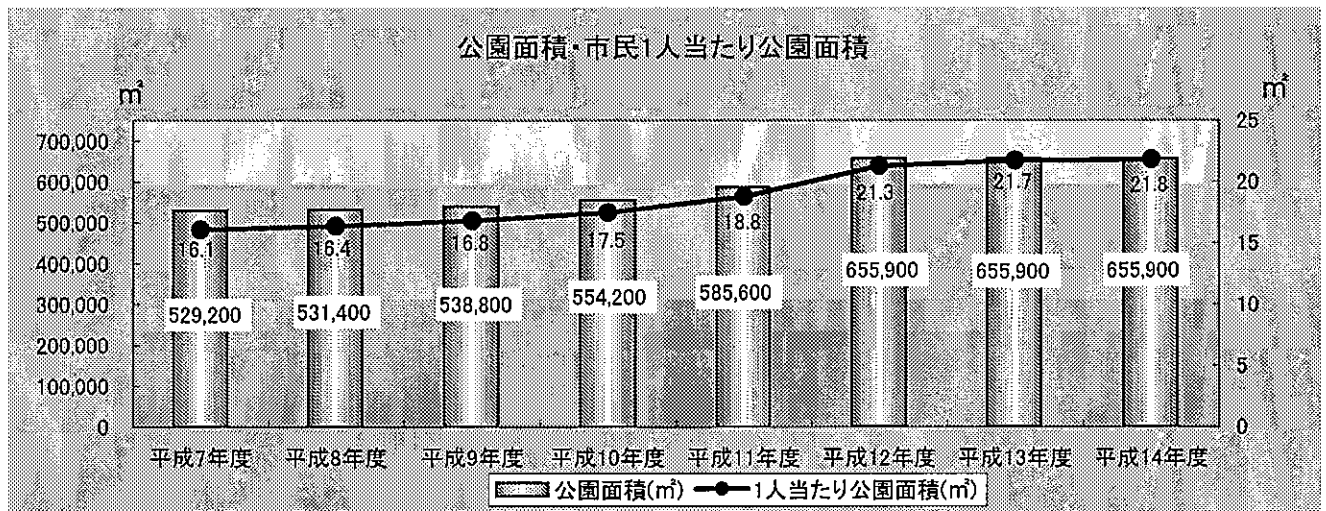
資料:下水道課



12 市民1人当たり公園面積～目標値:20.0㎡

年 度	公園数	公園面積(㎡)	住民基本台帳人口 (年度末現在)	1人当たり 公園面積(㎡)
平成7年度	15	529,200	32,871	16.1
平成8年度	15	531,400	32,402	16.4
平成9年度	16	538,800	32,072	16.8
平成10年度	17	554,200	31,668	17.5
平成11年度	18	585,600	31,148	18.8
平成12年度	20	655,900	30,788	21.3
平成13年度	20	655,900	30,283	21.7
平成14年度	20	655,900	30,021	21.8

資料:都市計画課



13 市民植樹祭参加者数～目標値:年間100人

○H14年度の状況

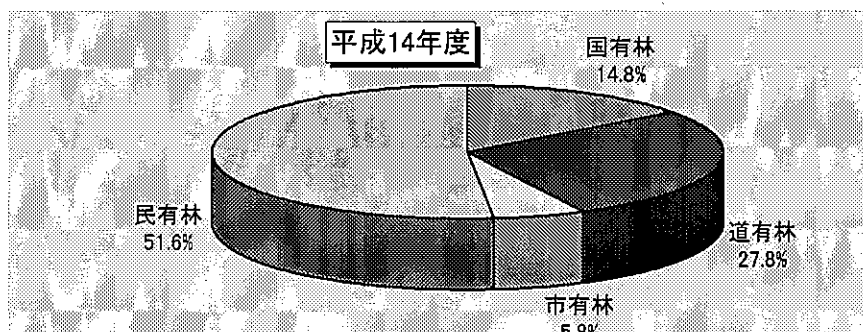
主催:桜ロードプロジェクト
 実施年月日:平成14年5月11日(土)
 実施場所:東明公園
 実施内容:桜の木30本の植樹
 参加者数:120人

資料:都市計画課

14 森林面積の維持～目標値:12,348ha

森林面積					単位:ha
年 度	国有林	道有林	市有林	民有林	計
平成12年度	1,828	3,432	717	6,371	12,348
平成13年度	1,828	3,432	717	6,370	12,347
平成14年度	1,828	3,432	717	6,360	12,337

資料:農政課

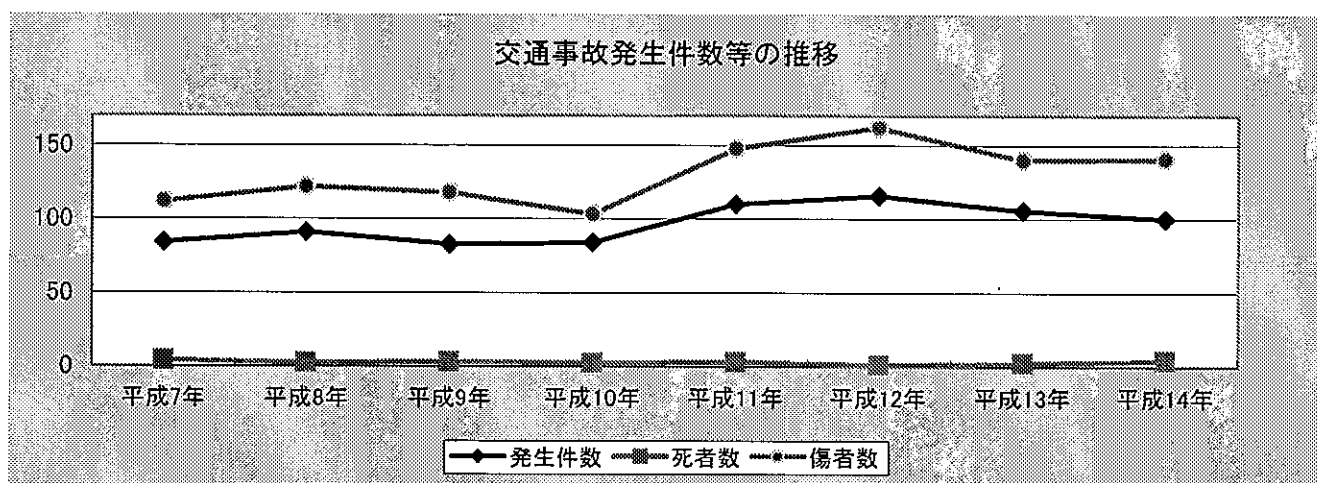


15 交通事故発生数1割減～目標値:平成11年110件→99件

交通事故件数

年	発生件数	死者数	傷者数
平成7年	84	4	112
平成8年	91	2	122
平成9年	83	3	118
平成10年	84	2	103
平成11年	110	3	148
平成12年	116	1	162
平成13年	106	2	140
平成14年	100	4	141

資料:美唄警察署



16 消費生活講座参加者数～目標値:年間300人(150人を上方修正)

年 度	参加者数
平成11年度	120人
平成12年度	60人
平成13年度	257人
平成14年度	171人

資料:生活環境課

17 自主防災組織数～目標値:10団体

H15年3月末現在	
団体名	加入世帯数
上美唄連合町内自主防災会	110
旭東町内自主防災会	225
峰延町南一町内自主防災会	41
南美唄福和町内会自主防災会	76
桜団地自主防災会	70
日東連合町内会自主防災会	86
計 6団体	608

資料:総務課

5つの柱: その3 【 人と自然が調和したまちづくり 】

地球環境の保全が強く求められている中、環境への負荷を少なくし、恵み豊かな環境を将来にわたり良好な状態で保全するため、身近な自然を守り育てながら、環境にやさしい循環型社会を形成するなど、人と自然が調和したまちづくりを進めます。

(まちづくりプランP14より)

* まちづくりプランに掲載の目標値に対する達成状況

5つの柱	17の推進方策	施策の方向	項 目	a 目標値(H17)	b H13	c 現状値(H14)	d 達成率% c/a
Ⅲ 人と自然が調和したまちづくり	1 人と自然が共生できる環境づくり	(1) 自然環境の保全	18 国設鳥獣保護区数	1か所	0か所	1か所	100.0%
		(2) 環境悪化の防止	19 公害苦情件数	0件	0件	1件	目標未達成(1件超過)
		(3) 環境行動の推進	20 ISO14001取得企業数	5社	2社	3社	60.0%
	2 資源を生かす循環型社会づくり	(1) ごみの減量化・リサイクルの推進	21 市民1人当たりごみ排出量	0.4t	0.45t	0.48t	目標未達成(0.08t超過)
		(2) 廃棄物の適正処理の推進	22 ごみの不法投案件数	0件	4件	28件	目標未達成(28件超過)
	3 くつろぎのある水辺環境づくり	(1) 水辺環境の整備	23 親水空間施設数	1施設	1施設	1施設	100.0%
		(2) 水質の保全	24 美唄川の水質環境基準値の維持(調査項目9項目中環境基準値を超えた項目数)	0項目	0項目	0項目	100.0%

＜現状値(H14)等の内訳＞

18 国設鳥獣保護区数～目標値:1か所

◆国設宮島沼鳥獣保護区～平成14年10月3日官報告示 同年11月1日施行

19 公害苦情件数～目標値:0件

年 度	公害苦情件数
平成10年度	0件
平成11年度	0件
平成12年度	0件
平成13年度	0件
平成14年度	1件

資料:生活環境課

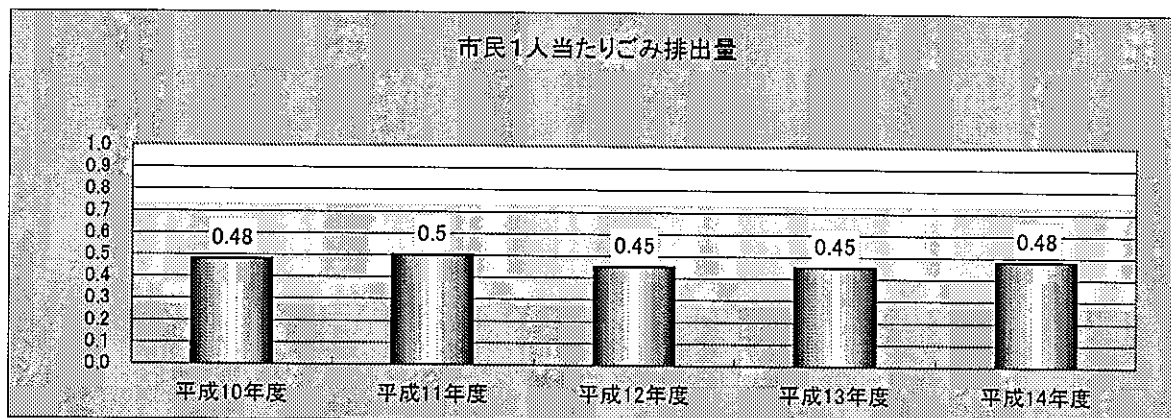
20 ISO14001取得企業数～目標値:5社

◆現状値(H14年度末)～3社

21 市民1人当たりごみ排出量～目標値:0.4t

年 度	市民1人当たりごみ排出量
平成10年度	0.48t
平成11年度	0.50t
平成12年度	0.45t
平成13年度	0.45t
平成14年度	0.48t

資料:生活環境課



22 ごみの不法投案件数～目標値:0件(市で対応した件数)

年 度	不法投案件数
平成10年度	1件
平成11年度	5件
平成12年度	1件
平成13年度	4件
平成14年度	28件

資料:生活環境課

23 親水空間施設数～目標値:1施設

- ◆現状値(平成14年度末):1施設
- ◆施設名:遊縁通り～噴水、せせらぎ水路
- ◆供用開始年月日:平成13年6月

資料:都市計画課

24 美唄川の水質環境基準値の維持

年 度	水質検査項目9項目のうち環境基準値を超えた項目数
平成10年度	データなし(非検査年)
平成11年度	0項目
平成12年度	データなし(非検査年)
平成13年度	0項目
平成14年度	0項目

資料:生活環境課

水質検査項目:鉛、6価クロム、カドミウム、ヒ素、シアン
PCB、アルキル水銀、リクロロエチレン
テトラクロエチレン
調査地点:南美唄新橋

5つの柱 その4 【 豊かで活力ある産業が広がるまちづくり 】

産業間の様々な連携を強め、産学官の連携により新しい時代をリードし、地域を支える産業の育成や活性化を促進するとともに、商工業の活性化や良質な農産物を安定して供給できる農業の振興を図ります。

また、訪れる人々にとって魅力ある観光の振興を図るなど、豊かで活力ある産業が広がるまちづくりを進めます。

(まちづくりプランP15より)

* まちづくりプランに掲載の目標値に対する達成状況

5つの柱	17の推進方策	施策の方向	項 目	a 目標値(H17)	b H13	c 現状値(H14)	d 達成率% c/a
Ⅳ 豊かで活力ある産業が広がるまちづくり	1 豊かでクリーンな農業づくり	(1) ゆとりある経営基盤づくり	25 農業産出額	105億円	83.8億円	82.5億円	78.6%
		(2) 効果的な生産基盤の整備	26 ほ場整備済面積	2,391ha	2,135ha	2,264ha	94.7%
		(3) 担い手の育成・確保	27 新規就農者数	累積20人	累積12人	累積21人	105.0%
		(4) 都市・消費者との交流の促進	28 農業体験施設数	10か所	4か所	5か所	50.0%
	2 地域を支える工業づくり	(1) 地場企業の振興	29 工業出荷額	300億円	227.5億円	232.8億円	77.6%
		(2) 新産業の創出	30 新たなベンチャー企業数	累積5社	0社	3社	60.0%
		(3) 空知団地の高度利用	31 誘致企業数	10社	0社	1社	10.0%
	3 活気ある商業・観光づくり	(1) 魅力ある商店街の形成	32 商業年間販売額	460億円	356.5億円(H11)	315.0億円	68.5%
		(2) 経営体質の強化	33 経営指導実施件数	年間1,200件	年間1,059件	年間1,060件	88.3%
		(3) 地域資源を生かした観光の振興	34 観光入り込み客数	年間40万人	年間17.5万人	年間18.0万人	45.0%
	4 楽しく働ける環境づくり	(1) 就業環境の向上	35 市のホームページ上の企業情報登録数	200社	9社	9社	4.5%
		(2) 職業能力開発の促進	36 情報処理技術者資格取得者数	年間20人	年間8人	年間21人	105.0%
		(3) 勤労者福祉の向上	37 勤労青少年ホーム利用者数	年間12,000人	年間12,083人	年間12,625人	105.2%

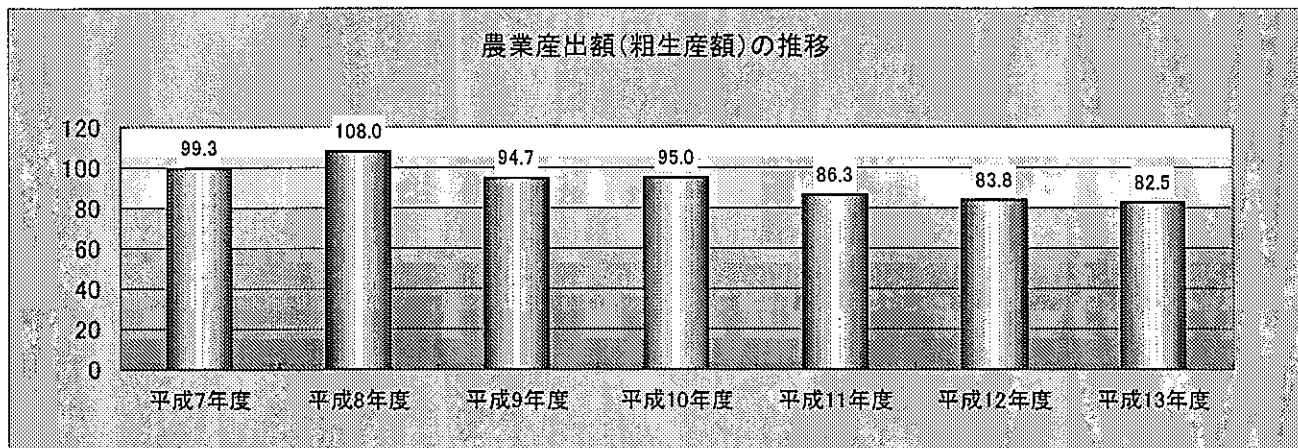
《現状値(H14)等の内訳》

25 農業産出額(粗生産額)～目標値:105億円

単位:億円

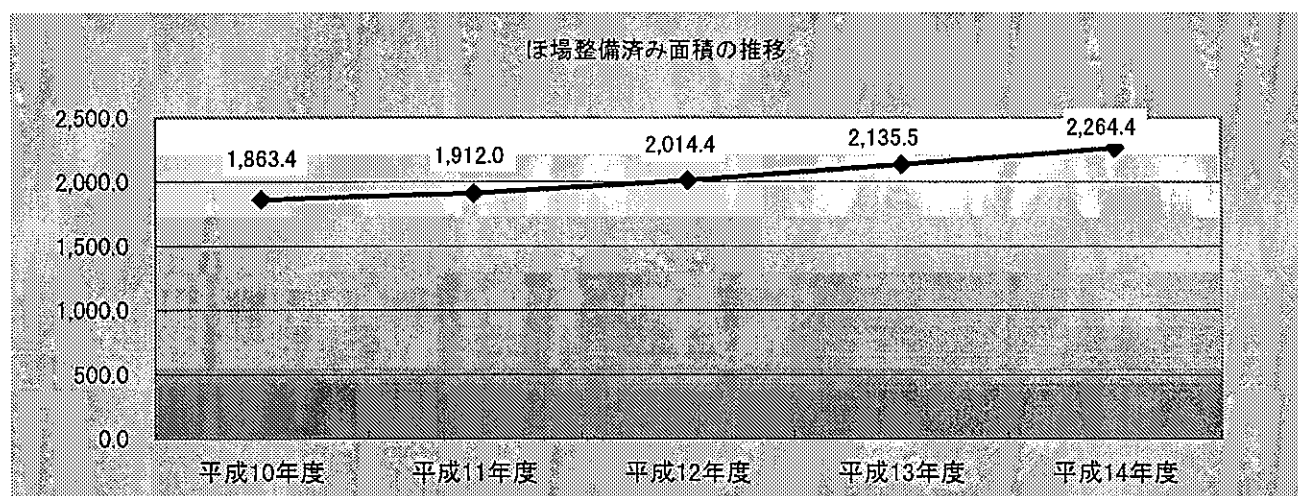
年 度	農業産出額
平成7年度	99.3
平成8年度	108.0
平成9年度	94.7
平成10年度	95.0
平成11年度	86.3
平成12年度	83.8
平成13年度	82.5

資料:北海道農林水産統計



26 ほ場整備済み面積～目標値:2,391ha

年 度	ほ場整備済み面積(ha)
平成10年度	1,863.4
平成11年度	1,912.0
平成12年度	2,014.4
平成13年度	2,135.5
平成14年度	2,264.4



27 新規就農者数～目標値:20人

◆現状値:21人(平成13年度～平成14年度累計)

資料:農政課

28 農業体験施設数～目標値:10か所

◆現状値(H14年度):5か所

施設名	場 所	内 容
体験工房よ～いDON	進徳町	米・野菜の直売・そば打ち体験等
ハスカップ農場(8農場)	峰延町、光珠内町ほか	ハスカップ狩り
内山農園	茶志内町	アスパラの収穫体験
岸ナーセリー	茶志内町	切り花、球根、ドライフラワー等直売
飛夢想屋(9農場)	光珠内町、峰延町	野菜のもぎ取り、直売

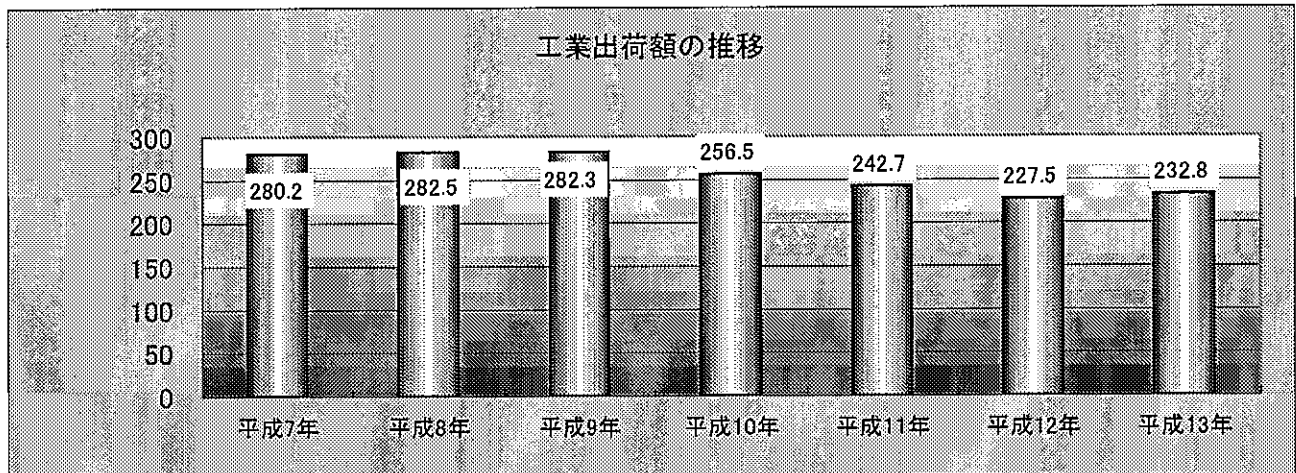
資料:農政課

29 工業出荷額～目標値:300億円

単位:億円

年	工業出荷額
平成7年	280.2
平成8年	282.5
平成9年	282.3
平成10年	256.5
平成11年	242.7
平成12年	227.5
平成13年	232.8

資料:工業統計調査



30 新たなベンチャー企業数～目標値:5社

◆現状値(平成14年度):3社

資料:商工労働課

31 誘致企業数～目標値:10社

◆現状値(平成13年度～平成14年度の累計):1社

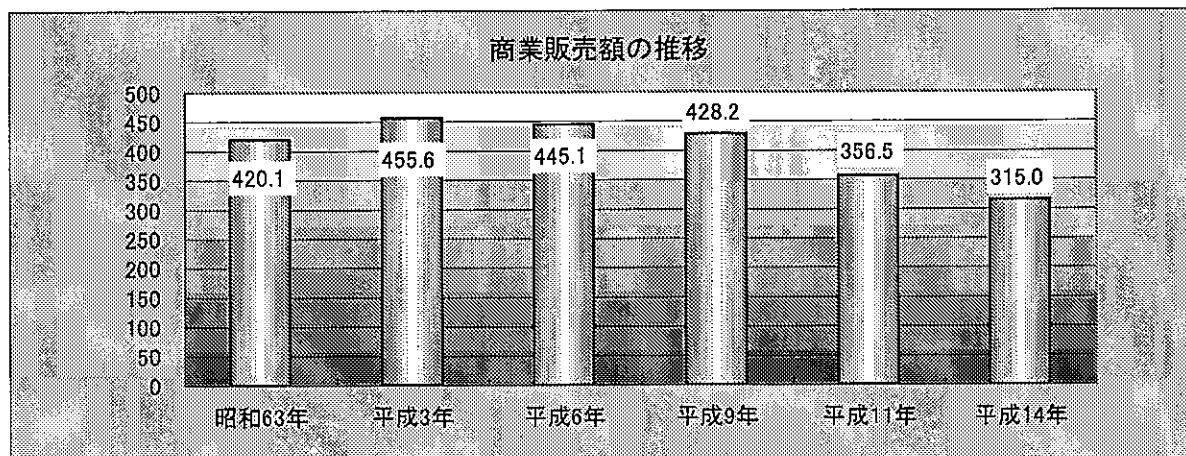
資料:産業振興室参事

32 商業年間販売額～目標値:460億円

単位:億円

年	商業販売額
昭和63年	420.1
平成3年	455.6
平成6年	445.1
平成9年	428.2
平成11年	356.5
平成14年	315.0

資料:商業統計調査



33 経営指導実施件数～目標値:年間1,200件

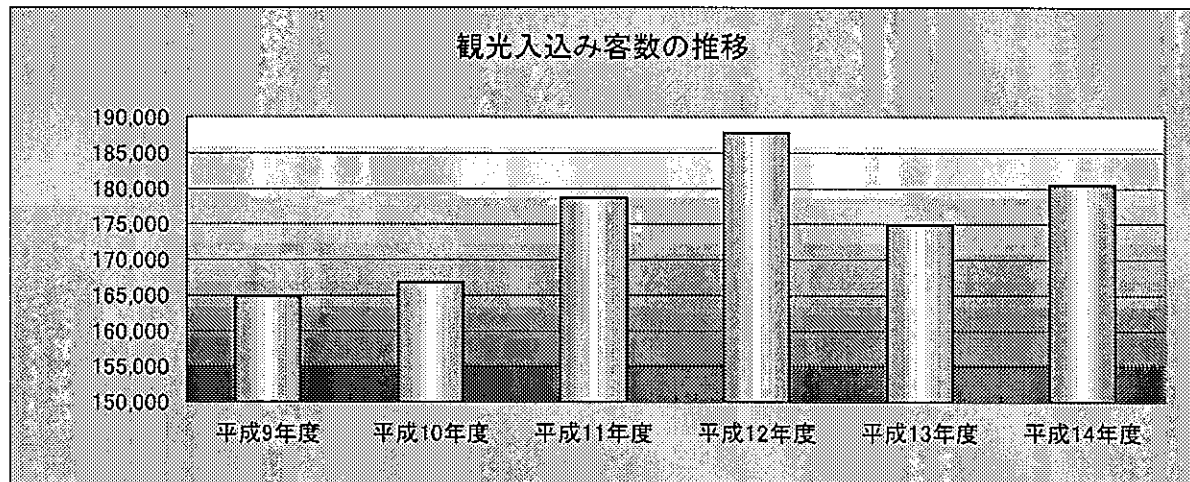
年度	年間指導件数
平成13年度	1,059件
平成14年度	1,060件

資料:商工労働課

34 観光入込み客数～目標値:年間40万人

年 度	観光入込み客数
平成9年度	164,800人
平成10年度	166,800人
平成11年度	178,600人
平成12年度	187,800人
平成13年度	174,800人
平成14年度	180,400人

資料:商工労働課



35 市のホームページ上の企業情報登録数～目標値:200社

年度	企業情報登録数
平成13年度	9社
平成14年度	9社

資料:商工労働課

36 情報処理技術者資格取得者数～目標値:年間20人

年度	資格取得者数
平成13年度	8人
平成14年度	21人

資料:商工労働課

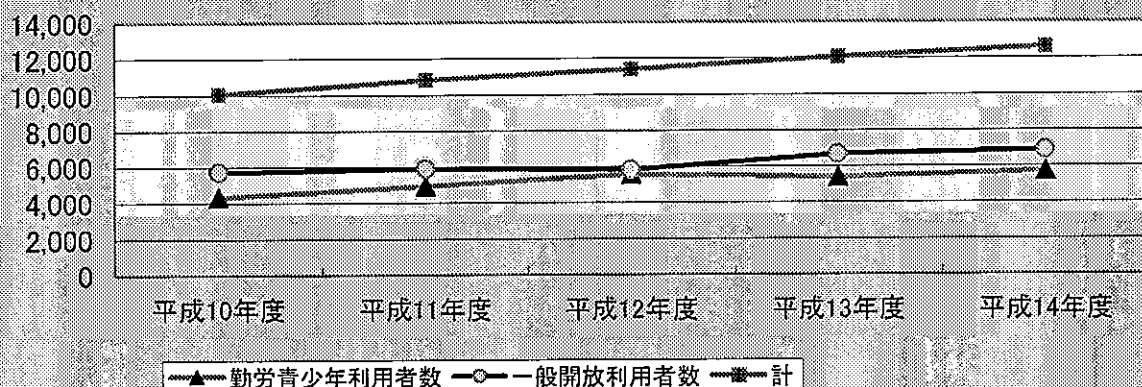
37 勤労青少年ホーム利用者数～目標値:年間12,000人

単位:人

年 度	勤労青少年利用者数	一般開放利用者数	計
平成10年度	4,337	5,711	10,048
平成11年度	4,927	5,902	10,829
平成12年度	5,564	5,827	11,391
平成13年度	5,389	6,694	12,083
平成14年度	5,738	6,887	12,625

資料:生涯学習課

勤労青少年ホーム利用者数の推移



5つの柱 その5 【 文化と交流のまちづくり 】

市民一人ひとりが、生きがいのある豊かで充実した人生を築けるよう、基本的な人権を尊重する社会の確立を目指すとともに、次代を担う人づくりをはじめ、生涯にわたる学習活動やスポーツ・レクリエーション活動を促進し、生涯学習社会の形成に努めます。

また、市民の主体的な文化活動を促進し、地域に根ざした個性ある芸術・文化の創造や振興を図るほか、様々な活動とおして、市内、市外の人々の交流を促進し、まちの活性化を図るなど、文化と交流のまちづくりを進めます。

(まちづくりプランP17より)

* まちづくりプランに掲載の目標値に対する達成状況

5つの柱	17の推進方策	施策の方向	項 目	a 目標値(H17)	b H13	c 現状値(H14)	d 達成率% c/a
Ⅴ 文化と交流のまちづくり	1 21世紀をみんなで担う人づくり	(1) 学校教育の充実	38 小学校のコンピュータ教室におけるパソコン台数	1人に1台	1人に1台	1人に1台	100.0%
		(2) 男女共同参画社会づくりの推進	39 市の審議会等の女性の比率	20%	13.6%	18.2%	91.0%
	2 生涯学べる環境づくり	(1) 生涯学習活動の推進	40 公民館講座参加者数	年間200人 (300人を下方修正)	年間173人	年間155人	77.5%
		(2) スポーツ・レクリエーション活動の推進	41 スポーツ教室年間参加者数	1,300人 (1,000人を上方修正)	1,125人	1,355人	104.2%
	3 交流のまちづくり	(1) スポーツ・レクリエーションの里づくり構想の推進	42 交流拠点施設数	1施設	0施設	0施設	0.0%
		(2) 国内・国際交流活動の推進	43 ホームステイする外国人数	年間20人	年間0人	年間0人	0.0%
		(3) 交流基盤の整備	44 市のホームページへの年間アクセス件数	20万件 (2万件を上方修正)	122,088件	186,844件	93.4%

*「43 ホームステイする外国人数」は市が関与したホームステイの外国人の数を指している。

《現状値(H14)等の内訳》

38 小学校のコンピュータ教室におけるパソコン台数～目標値:1人に1台

◆現状値(H14年度):1人に1台～小学校8校のパソコン台数 258台(平成13年度整備済み)

児童数 1,482人(平成13年5月1日現在)

児童数 1,500人(平成14年5月1日現在)

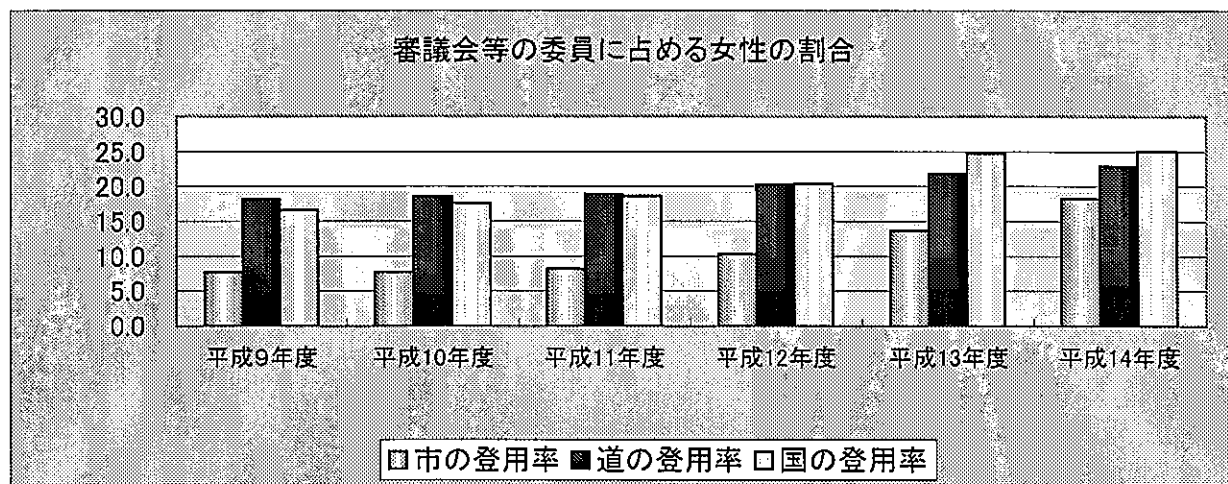
資料:学務課

39 市の審議会等の女性比率～目標値:20%

(単位:%)

区 分	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
市の登用率	7.7	7.7	8.1	10.2	13.6	18.2
道の登用率	18.1	18.5	18.8	20.2	21.8	22.9
国の登用率	16.6	17.6	18.6	20.4	24.7	25.0

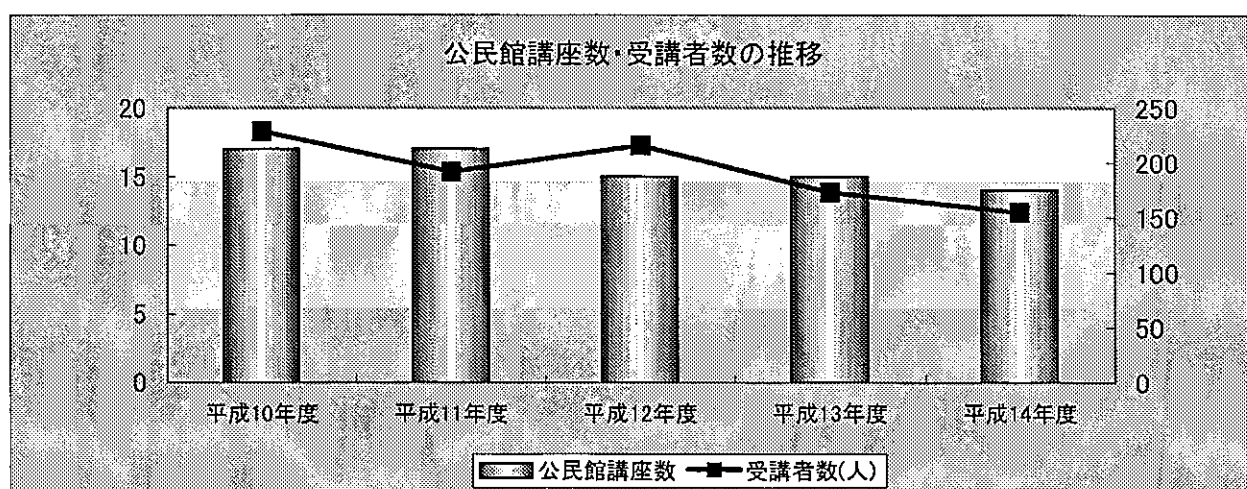
資料:企画課



40 公民館講座参加者数～目標値:年間200人

年 度	公民館講座数	受講者数(人)
平成10年度	17	229
平成11年度	17	192
平成12年度	15	216
平成13年度	15	173
平成14年度	14	155

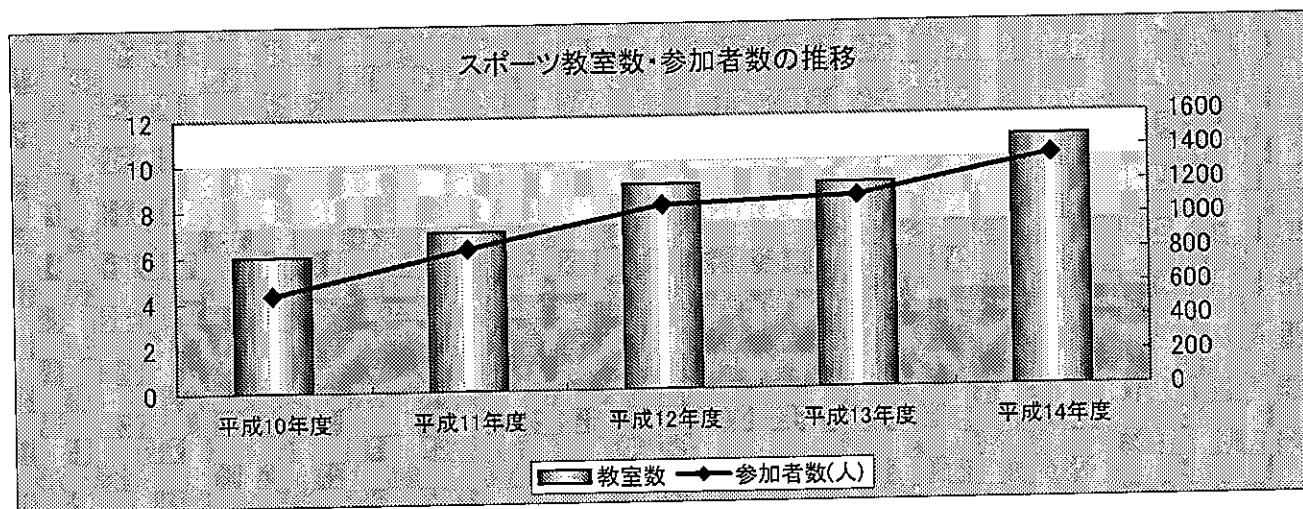
資料:公民館



41 スポーツ教室年間参加者数～目標値:1,300人(1,000人を上方修正)

年 度	教室数	参加者数(人)
平成10年度	6	572
平成11年度	7	837
平成12年度	9	1,080
平成13年度	9	1,125
平成14年度	11	1,355

資料:体育振興課



42 交流拠点施設数～目標値:1施設

◆現状値:0施設～平成15年12月供用開始予定

資料:企画財政部参事

43 ホームステイする外国人数～目標値:年間20人

年 度	人数
平成13年度	0人
平成14年度	0人

資料:企画課

44 市のホームページへの年間アクセス件数～目標値:200,000件(20,000件を上方修正)

年 度	年間アクセス数
平成13年度	122,088件
平成14年度	186,844件

資料:総務課

2. 財政状況について

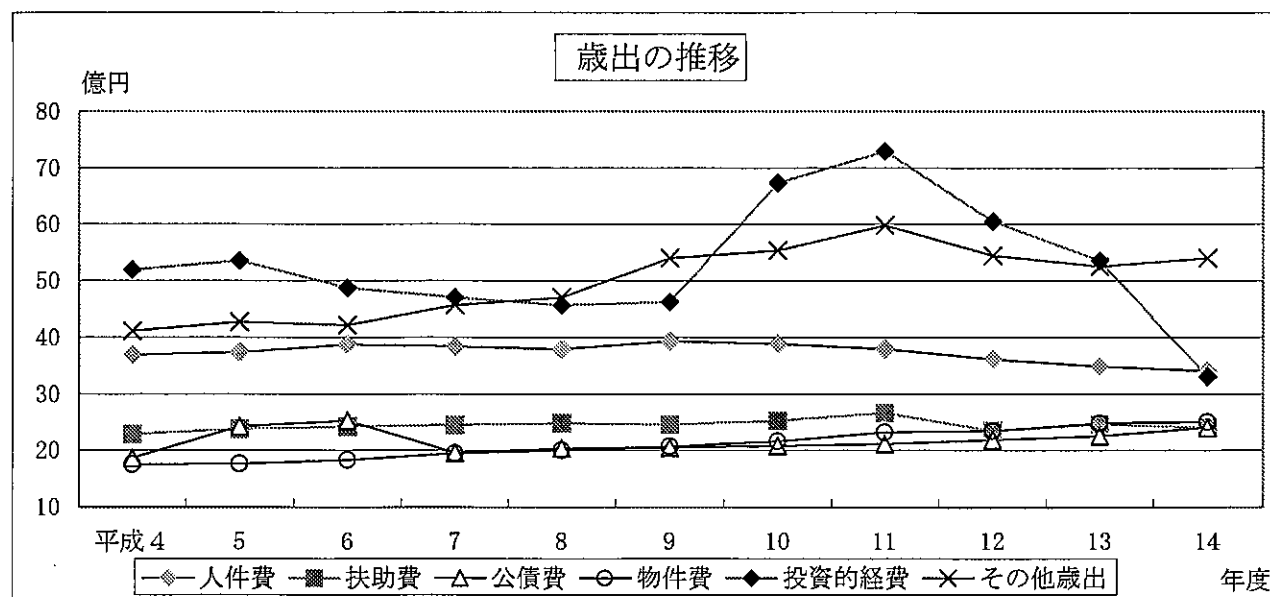
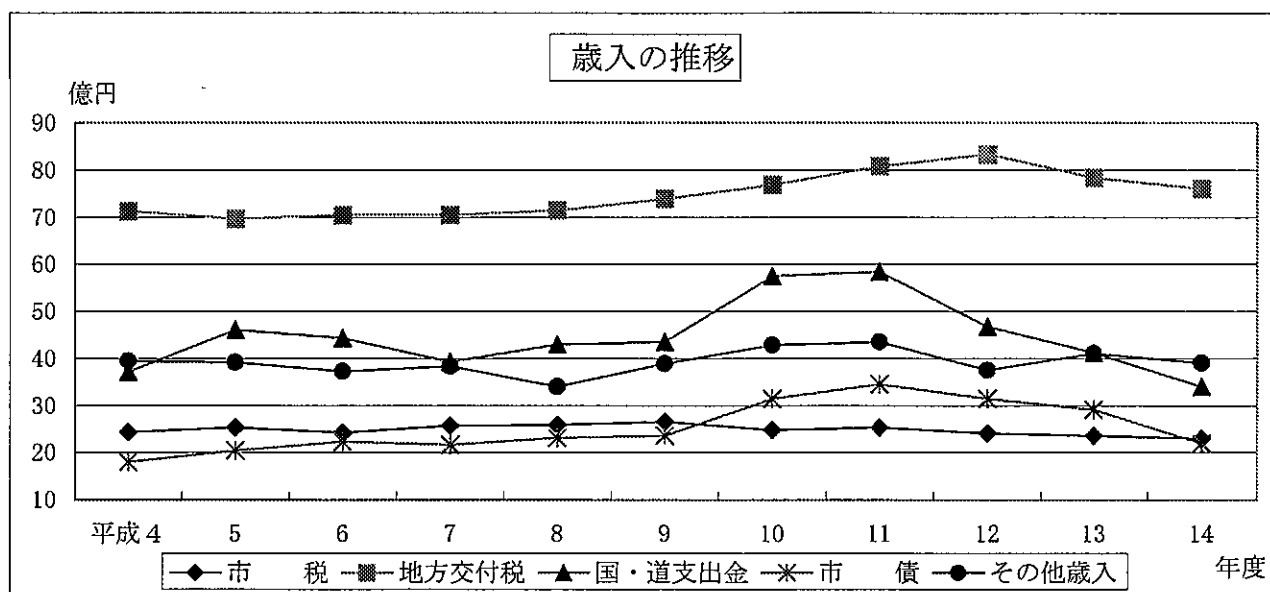
美唄市の財政は、市税収入などの自主財源が少ないため、国から交付金である地方交付税に大きく頼る構造になっています。

これまで、人件費の縮減や事業の見直しなどに努めてきましたが、長引く景気の低迷等による市税の減収、人口減少に伴う地方交付税の減額などにより苦しい財政運営となっています。

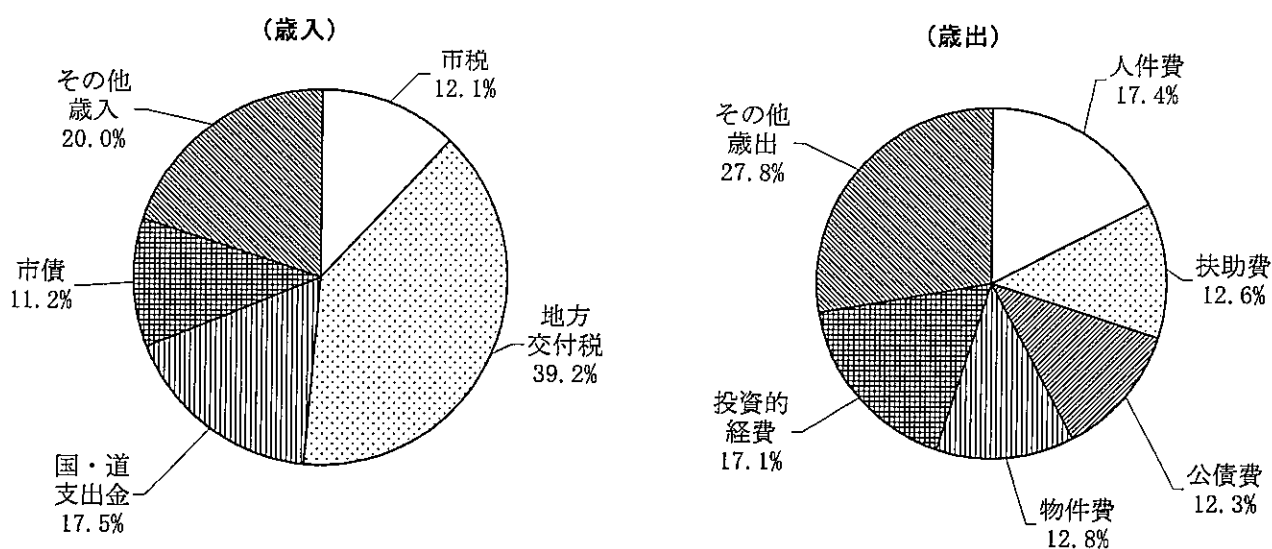
現状のままのサービスや事業のやり方を続けると、毎年、10億円以上の赤字となり、財政は破たんします。

このため、収支不均衡の改善はもとより、21世紀まちづくりプランの着実な推進のため、社会経済情勢の変化に柔軟かつ弾力的に対応できる健全な財政構造を目指し、財政健全化推進計画（H15年度～H17年度）を策定し、現在取り組んでいるところです。

* 決算数値は普通会計（一般会計、市民バス会計、土地区画整理事業会計）ベースで集計。



平成14年度決算の状況



* 決算数値は普通会計(一般会計、市民バス会計、土地区画整理事業会計)ベースで集計。

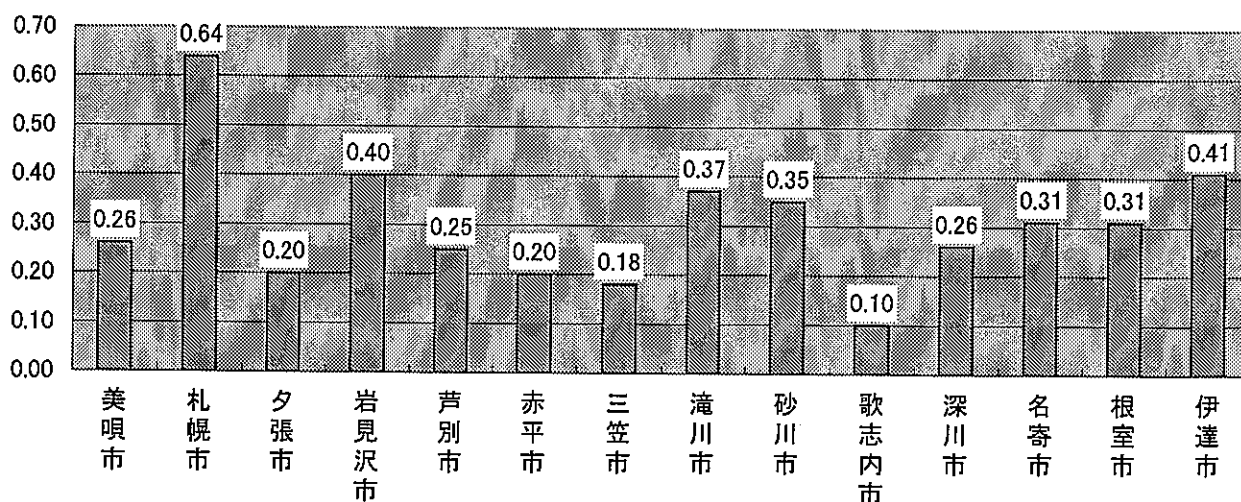
財政指数比較

財政力指数(3か年平均)

財政力を測定する尺度です。

標準的に必要な財政需要に対して、税収入がどれだけあるかを示す指標で、この指数が高いほど財政力があることになります。

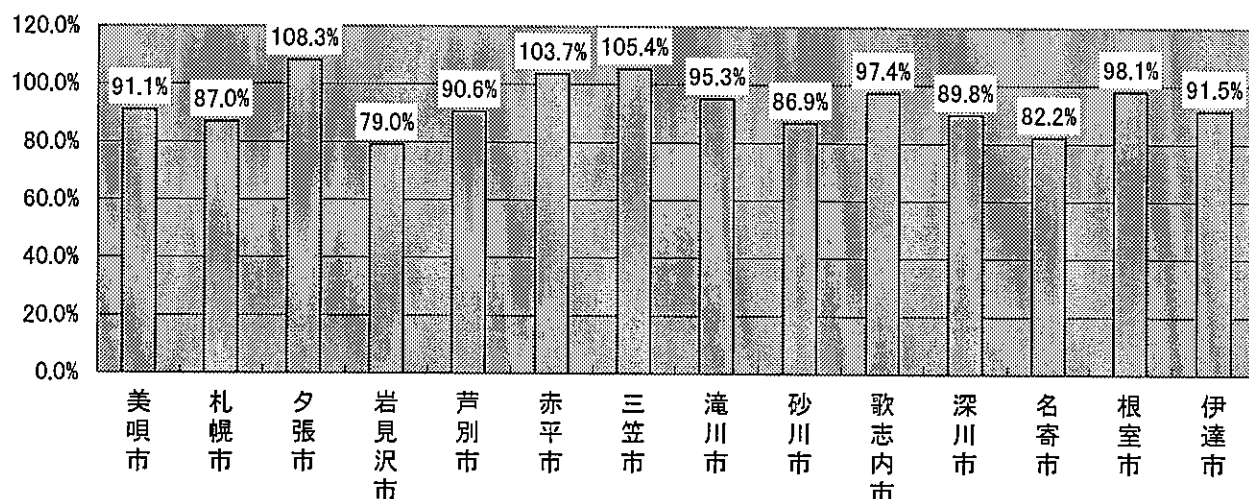
財政力指数(H12年度～H14年度の平均)



経常収支比率(H14年度)

経常一般財源収入に占める経常的経費に充当された一般財源の比率です。80%を超えると財政構造の弾力性が失われつつあるといわれています。

経常収支比率(%) (H14年度)

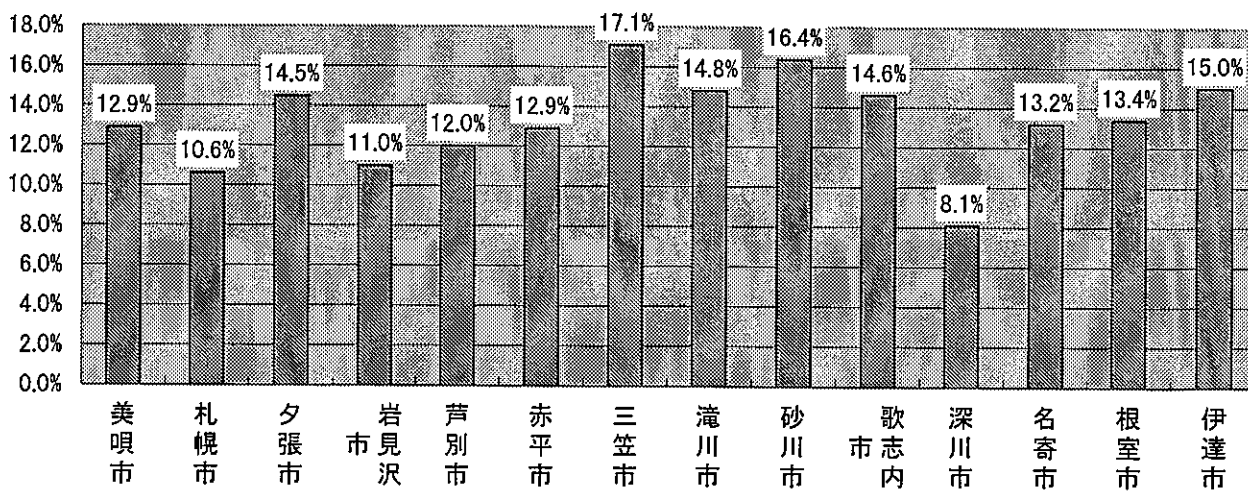


起債制限比率(3カ年平均)

一定の算式により、地方債の元利償還に要する一般財源の状況を示す指標で、地方債の許可制限基準となる指標です。

20%以上になると地方債発行にあたり一定の制限を受けるほか、14%以上になると適正化の取り組みが必要となります。

起債制限比率(%) (H12年度～H14年度の平均)



3. まちづくり評価(福祉・環境・交流の評価)について

前ページまでは、まちづくり全体がどこまで進んでいるかという視点から、まちづくりプランのこれまでの進捗状況と財政状況について市民の皆さんにお知らせしましたが、ここでは、まちづくりを評価する上で、特にポイントとなるまちづくりプランの重点方向である「福祉」「環境」「交流」の3分野に絞って評価した結果をお知らせします。

具体的には、各々どういった内容なのか、どの程度達成しているかなどについて示した上で、「今後どのような施策を展開したほうがよいか」などについて評価します。評価にあたっては、市民の行政改革推進委員会の皆さんに行っていただきました。

なお、最後に行政改革推進委員会よりまちづくりに関する全体的な評価をいただきました。

*巻末の資料には、「福祉」「環境」「交流」に関連する指標・目標値の達成状況等の詳細を示した表があります。そちらもご覧ください。

3つの重点方向 その1「福祉のまち」

「福祉のまち」の目指すところ

(まちづくりプランP11より)

美唄市においては、人口の減少傾向が続く中、出生数の減少と、高齢者人口の相対的な増加が顕著になっており、子育て支援や高齢者福祉など、これまで以上に相互に支え合う地域づくりを進めていかなければなりません。

そのため、子どもたちが健やかに育ち、だれもが生涯を通じて健康で安心してくらせるまち、やさしい心で支え合い、社会の様々な活動に楽しく参加できるまちを目指します。

具体化するための重点施策

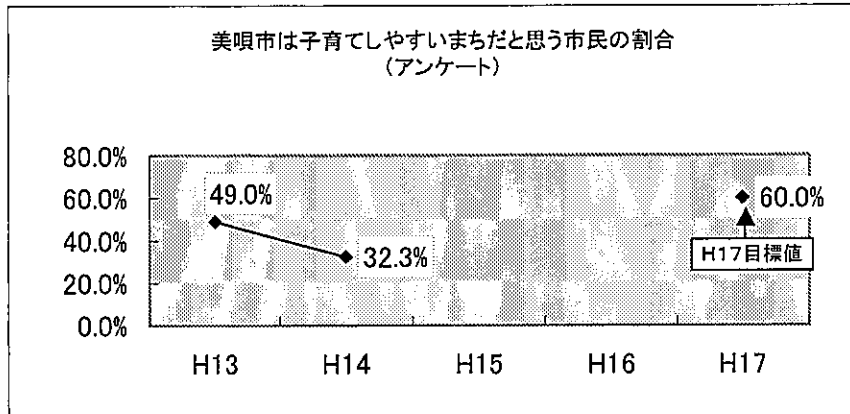
福祉のまちづくりのための重点施策

(まちづくりプランP23より)

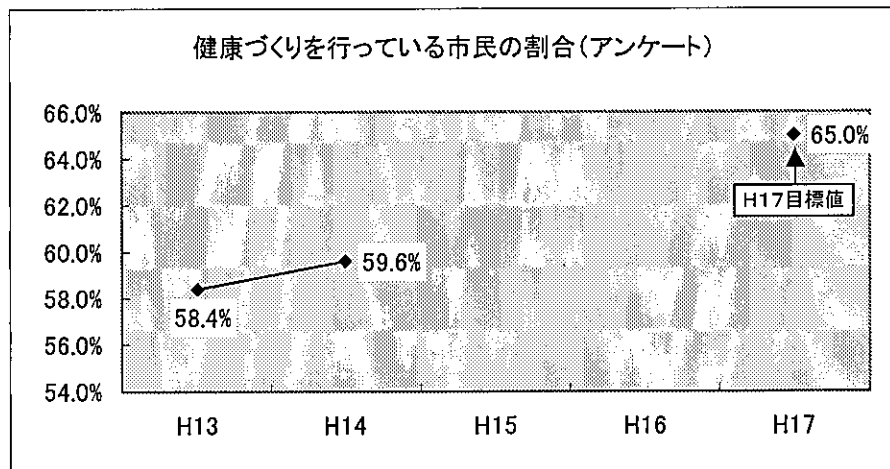
子どもたちが健やかに育ち、障がい者や高齢者などだれもが生涯を通じて健康で安心してくらせ、社会の様々な活動に楽しく参加できるまちを目指し、次の施策を推進します。また、福祉のまちづくりの理念や市民と行政それぞれの役割などを示す「福祉のまちづくり条例」を制定します。

- ・総合的子育て支援の推進
- ・生涯にわたる健康づくりの推進
- ・バリアフリーなど福祉のまちづくりの推進

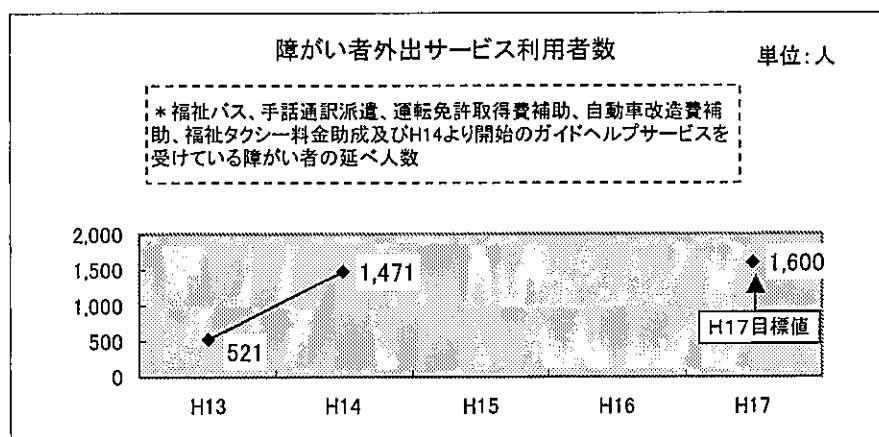
「総合的子育て支援の推進」の達成度を測るための代表的な指標



「生涯にわたる健康づくりの推進」の達成度を測るための代表的な指標



「バリアフリーなど福祉のまちづくりの推進」の達成度を測るための代表的な指標



*「福祉のまちづくり」に関連する指標は全部で47指標あります。全体の傾向及び詳細は資料編をご覧ください。

参考：福祉のまちに関連するデータ（ほかの「まち」と比較すると）

●安心度 → 全国で363位

*美唄市363位（調査対象全国の700都市～東京特別区含む）

*「安心度」→人口当たりの病床数、65歳人口あたり特養ホーム・老人保健施設定員、出生数の偏差により算出）（都市データパック2003年版～東洋経済新報社）

●国民健康保険診療費（1人当たり～H12年度） → 1人当たり医療費が全道平均を上回る

*美唄市：292,003円、北海道平均：275,207円、全国平均：218,254円

《出典：国民健康保険の実態（平成13年度版）国民健康保険中央会・都道府県国民健康保険団体連合会～H12年度国民健康保健被保険者1人当り療養（医療）諸費用額》

●身体障がい者手帳交付数 → 身体障がい者手帳交付数が全道平均を上回る

*H12年度人口千人当たり手帳交付数 → 美唄市：58.2人、北海道平均：47.5人、全国平均：33.8人 《H12年度：身体障がい者手帳交付数（人口千人当たり）出典：北海道及び全国平均は社会福祉行政業務報告より》

●身体障がい者更生援護施設定員数 → 定員数が全道平均を上回る

*H12年度：身体障がい者更生援護施設定員数（人口10万人当たり）

→美唄市：259.8人、北海道平均：62.0人、全国平均：40.4人

●民生委員（児童委員）数 → 人口当たりの委員数が全道平均を上回る

*H12年度：民生委員（児童委員）数（人口10万人当たり）《出典：北海道及び全国平均は社会福祉行政業務報告》→美唄市：269.6人、北海道平均：212.8人、全国平均：169.7人

●民生委員（児童委員）1人当たり相談・指導件数 → 相談・指導件数が全道平均を上回る

*H12年度：民生委員（児童委員）相談・指導件数（民生（児童委員）1人当たり）《出典：北海道及び全国平均は社会福祉行政業務報告》

→美唄市：363.6人、北海道平均：51.7人、全国平均：61.1人

「福祉のまち」の評価（行政改革推進委員会の評価）

現状評価及び今後の施策のあり方等について

- ・ この重点方向に関する目標達成度については、総体的にはおおむね目標に向かって進んでいることがうかがえる。
- ・ 福祉のまちづくりは、自助・共助・公助を通じて誰もが安心して暮らせる地域社会をつくることである。病気になった場合や出産の際に、診療科によってはすぐに専門医の診察を受けられない状況では、安心して暮らせる地域社会にほど遠いと言わざるを得ない。地域医療の充実が福祉のまちづくりのための最優先課題であることを十分認識し早急に改善すべきである。

- ・ 少子高齢社会においては、保健・福祉・医療の連携が重要であり、医療の充実はもとより、健康づくりや介護予防の取り組みを充実させていくことが必要である。
- ・ 障がい者福祉については、障がい者ガイドヘルプ事業など社会参加を促進する取り組みが徐々に充実されてきており評価できる。
- ・ 昔から美唄に住んでいる人は気が付かないかもしれないが、転勤などにより美唄に移り住んでみると、障がいのある方が街中にいても一般市民の対応に違和感がなく、ノーマライゼーションが進んでいる地域だと感じている。これは養護学校を始め、古くから多くの福祉関連施設や障がい者を雇用する事業所があることと関係していると思うが、こうした地域性は福祉のまちづくりを進める上で重要な要素だと思う。
- ・ 福祉は特別な人だけの施策ではなく、むしろ私たちみんなに病の可能性や老いがあるように、自分たちの問題としてとらえる必要がある。必要な施設での治療等の期間を除き、住み慣れた地域でいつまでも暮らしたいと願う気持ちを可能な限り実現させていくためには、病院での治療や必要な福祉サービスを受けるだけでは、24時間、365日、地域で安心して暮らしていくことに限界がある。しかし、地域でのとなり近所の見守りやつながりがあれば、心強く感じ、安心して暮らすことができると思われる。このため、日々の暮らしの安心を住民同士の支え合いと行政からの支援とにより進めようとしている地域福祉計画に基づいた仕組みづくりを、そこに住む地域住民とじっくりと作り上げていくべきである。
- ・ 子育て支援センター開設や子育てサークルの増加など、子育て支援が順調に進んでいると感じており評価できる。また、子どもの健やかな成長を支援する活動は、行政ばかりでなく、地域全体で子育てを支援することが必要である。これまでも一部の地域においてお年寄りと子どもたちとの交流や地域における見守りなどが行われてきているが、地域の中で話し合いながらこうした活動を行うことによって、防犯や非行防止などの活動につなげていくなど子育てを地域で支える取り組みをさらに進めていくことが必要と考える。
- ・ 一部の福祉サービスについては、利用者の満足度調査が行われていると聞いているが、福祉分野についてはサービスの対象となる人の状況がさまざまであるため、高齢者や母子家庭、障がい者（知的障がい者、身体障がい者、精神障がい者）など対象を絞り込んだニーズ把握をした上で、行政がかかわるもの、地域がかかわるもの、受益者個人やその家族が行うべきもの（受益者負担を含む）などを考えながら施策の展開を図る必要がある。

3つの重点方向 その2「環境のまち」

「環境のまち」の目指すところ

(まちづくりプランP11より)

美唄市は、豊かな自然に恵まれています。今後もこの恵みを享受するために、自然を貴重な資源として保全していくとともに、安全性や快適性の確保など、人の営みと自然を調和させていかなければなりません。

そのため、環境への負荷を少なくし、かけがえのない自然を守り、安全で快適な環境を整えて、未来に引き継ぐまちを目指します。

具体化するための重点施策

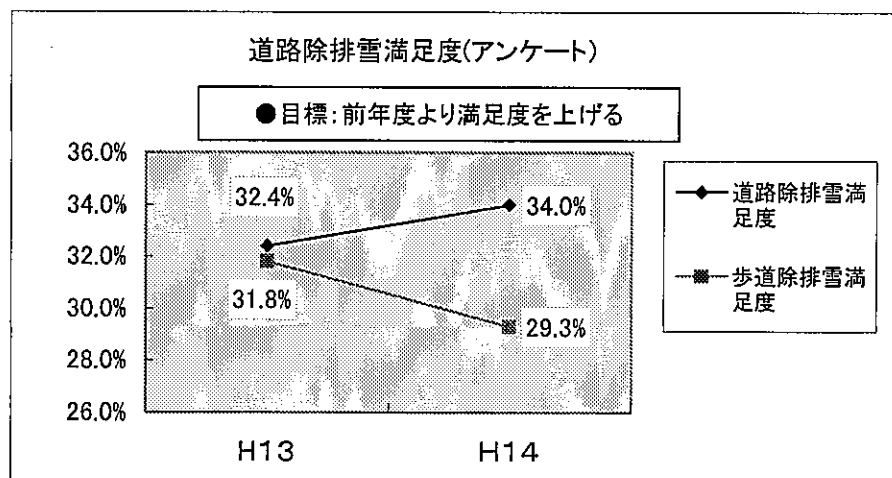
環境のまちづくりのための重点施策

(まちづくりプランP23より)

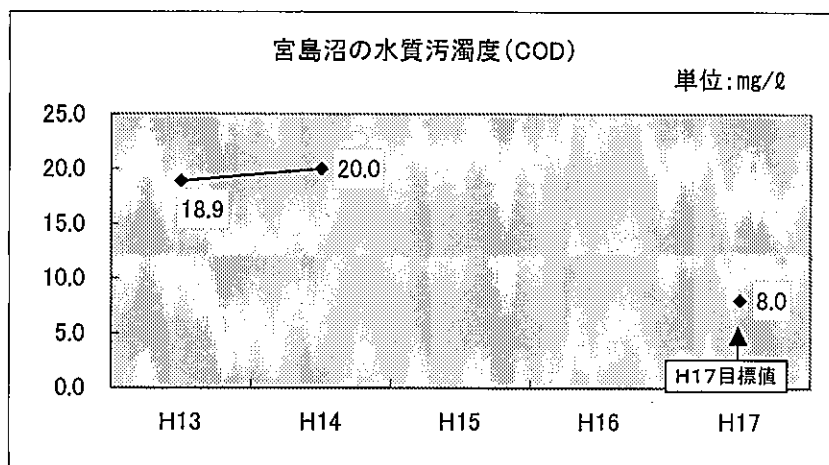
環境への負荷を少なくし、資源を循環させ、かけがえのない自然を守ることにより、安全で快適な環境を整えて、未来に引き継ぐまちを目指し、次の施策を推進します。また、市民、企業、行政が連携して、緑づくりや環境に配慮した活動を進めます。

- ・ 快適な冬のくらしの実現
- ・ 宮島沼の自然環境の保全
- ・ 循環型社会の構築

「快適な冬のくらしの実現」の達成度を測るための代表的な指標



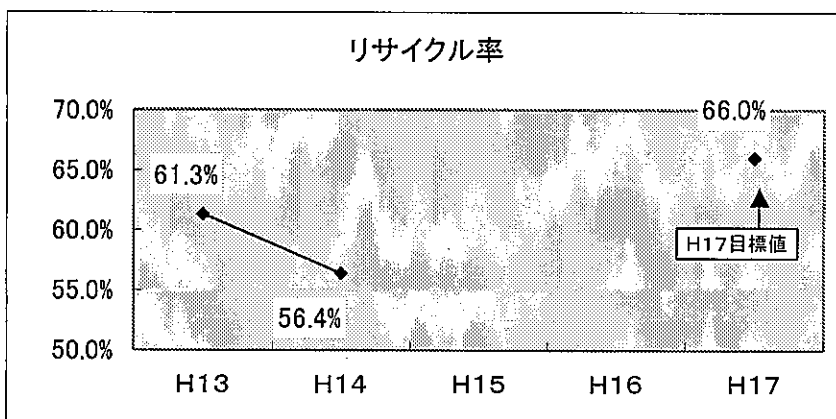
「宮島沼の自然環境の保全」の達成度を測るための代表的な指標



★国設鳥獣保護区数～目標1カ

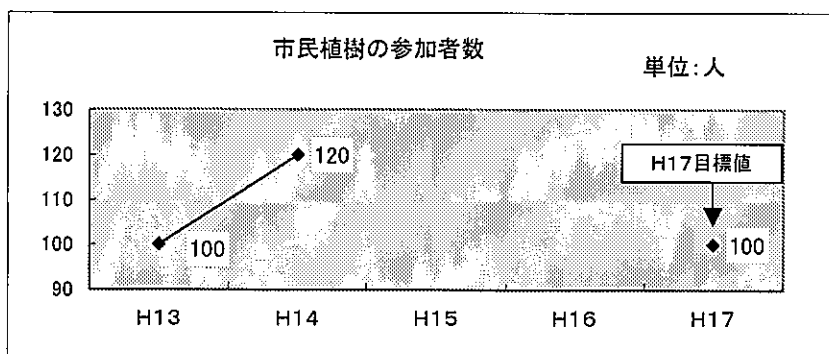
宮島沼は平成14年11月1日に国設鳥獣保護区に設定され、その目標を達成することができました。

「循環型社会の構築」の達成度を測るための代表的な指標



*リサイクル率＝資源ごみ処理量／資源ごみ潜在量(資源ごみ収集量＋可燃・不燃ごみ中の資源ごみ量)

「緑づくりや環境に配慮した活動」の達成度を測るための代表的な指標



*「環境のまちづくり」に関連する指標は全部で26指標あります。全体の傾向及び詳細は資料編をご覧ください。

参考：環境のまちに関連するデータ（ほかの「まち」と比較すると）

●一般廃棄物のリサイクル率 → リサイクル率は全道平均を上回る

*H12年度：一般廃棄物のリサイクル率（リサイクル量／ごみ全体量）《出典：北海道及び全国平均は社会生活統計指標》→美唄市：11.16%、北海道平均：9.8%、全国平均：14.3%

●住民一人当たりごみ排出量 → 1人当たりごみ排出量は全道平均を下回る

*H12年度：住民一人当たりごみ排出量（年間総排出量／ごみ処理人口）《出典：公共施設状況調査》→美唄市：0.49トン、北海道平均：0.52トン、全国平均：0.42トン

●公害苦情件数 → 公害苦情件数ゼロ（全道平均を大幅に下回る）

*H12年度：公害苦情件数（典型7公害、人口10万人当たり）《出典：北海道及び全国平均は公害苦情調査結果報告書より》→美唄市：0件、北海道平均：20.9件、全国平均：50.3件

●1人当たり都市公園面積 → 全国99位

*1人当たり都市公園面積（都市データバック2003年版～東洋経済新報社）美唄市99位（調査対象全国の700都市（東京特別区含む））

「環境のまち」の評価（行政改革推進委員会の評価）

現状評価及び今後の施策のあり方等について

- ・ 道路の整備については、限られた予算の中で行うのだから、今策定中の美唄市総合交通体系基本計画を早急に完成させて、重要度・有効性・住民要望等から、道路整備の優先度の透明性を確保した中で決定していくことが今後の取組みとして必要と考える。
- ・ 交通体系の整備については、施策の対象がバス利用者になっていることから まちづくり市民アンケートの結果だけではなく、市民バスの利用者からのモニタリング（アンケート）が必要であり、それにより運行路線や停留所の設置箇所の改善に活用すべきと考える。
- ・ 冬期活動の確保では、除排雪はよくなったという私たちの実感とまちづくり市民アンケートの結果が一致する。
- ・ 宮島沼が国の鳥獣保護区に指定され、ラムサール条約の登録湿地になったことは喜ばしいことだが、それだけでは指定されたという事実だけである。今後は平成14年3月に市が策定した宮島沼保全活用計画を官民一緒になって着実に進めていくことが必要と考える。

- ・ ゴミ排出量の抑制などの問題に関しては、市民一人あたりのリサイクル率では全道平均を上回っているが、ゴミ排出量に顕著な抑制効果はまだ現れていない。このため、最終的にゴミ排出量の抑制につながるような長期展望を持って、資源ゴミのリサイクル率をあげるための効果的な施策展開が必要と考える。
- ・ 公園緑地の整備、緑化の推進及び環境行動の推進では、ポイントとしては、せっかく整備した公園をどういう風に気持ちよく使える状態を保っていくか（できれば低コストで）ということが課題である。現状を前提にして考えた場合、ある程度大規模な公園と町内会が管理している比較的小さな公園とを二つに分けて、それぞれ市民参加のあり方や行政のかかわり方を考えていくべきである。
また、植樹活動の参加者数も単純に人数だけを問題としないで、参加者の動機、参加しての満足度について参加者アンケートを実施して評価すべきと考える。
- ・ 森林の維持と活用ということでは、全然使われていない学校林を活用して、子どもたちの緑教育という部分も考えていったほうがよいと思う。

3つの重点方向 その3「交流のまち」

「交流のまち」の目指すところ

（まちづくりプランP11より）

市民が様々な分野で世代や地域、産業をとおして交流を深めていくことで、生活の中での充実感や新たな産業の展開につなげていくとともに、美唄からの情報発信によるまちの個性化を図っていかねばなりません。

そのため、新しい時代を担う人づくりを進めるとともに、一人ひとりの個性と能力が十分に発揮できる環境を整え、自然や歴史、文化、産業など様々な分野で交流が広がり、活力と魅力があふれるまちを目指します。

具体化するための重点施策

交流のまちづくりのための重点施策

（まちづくりプランP23より）

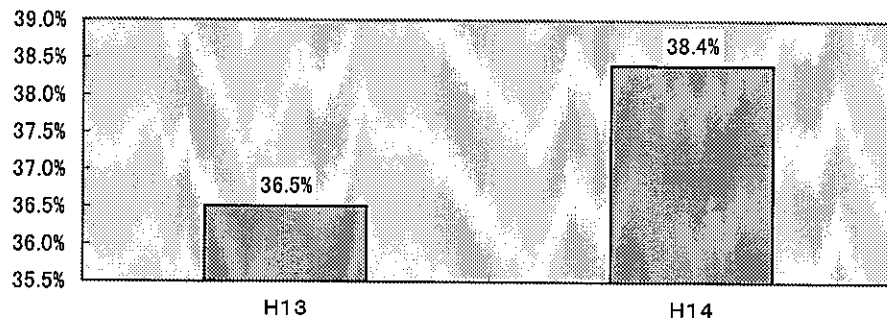
多彩な人材を育てるとともに、一人ひとりの個性と能力が十分に発揮できる環境を整え、自然や歴史、文化、産業など広い分野で交流が広がり、活力と魅力あふれるまちを目指し、次の施策を推進します。また、「スポーツ・レクリエーションの里づくり構想」を進め、美唄のあらゆる地域資源を活用し、地域の活性化を図ります。

- ・ 生涯学習活動の推進
- ・ 高度情報化の推進
- ・ 交流拠点施設の整備

「生涯学習の推進」の達成度を測るための代表的な指標

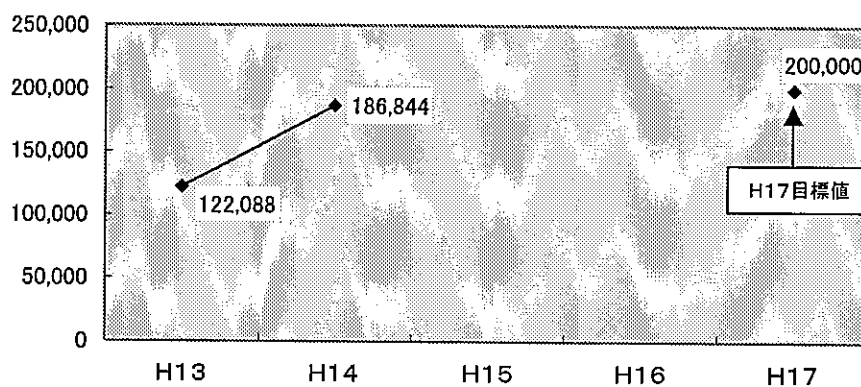
●目標：前年度より取り組んでいる割合を上げる

生涯学習・スポーツに取り組んでいる市民の割合(アンケート)



「高度情報化の推進」の達成度を測るための代表的な指標

市のホームページのアクセス件数



「交流拠点施設の整備」の達成度

★交流拠点施設の整備の達成度は、「交流拠点施設」の完成・オープン(目標値:1カ所)ですが、H14年度は工事中でした。なお、交流拠点施設(「ピパの湯ゆ〜りん館」)はH15年12月に完成・オープンしました。

*「交流のまちづくり」に関連する指標は全部で16指標あります。全体の傾向及び詳細は資料編をご覧ください。

参考：交流のまちに関連するデータ（ほかの「まち」と比較すると）

●情報化の取り組み → 全道5位

* 行政情報化の進展度合いを比較する「日経パソコン e 都市ランキング2003」で美唄市は回答のあった2,640自治体中、総合で201位で、北海道27市中では総合5位にランク。（①調査対象：全国の市区町村（3,209自治体）、②回答率82.3%、③調査概要：雑誌「日経パソコン」において自治体の情報化担当者へのアンケートを基に順位づけを行ったもの。調査項目に「インターネットでの情報・サービスの提供、住民からのメールへの回答」などのほか、行政内部の情報インフラに関する項目もある。）

●観光客 → 空知管内10市中最下位

* 観光入込客数（H14年度）→空知管内10市中10位（北海道観光入込客数調査報告書H15年7月）

「交流のまち」の評価（行政改革推進委員会の評価）

現状評価及び今後の施策のあり方等について

- ・ この重点方向に関する目標達成度については、総体的にはおおむね目標に向かって進んでいることがうかがえる。
- ・ 個別には、「生涯学習やスポーツに取り組んでいる市民の割合」は、市で実施している市民アンケートでは約4割が取り組んでいると回答しており、対前年比においても、わずかに上っている。
- ・ 従来、市が直接舞台芸術、音楽等の上演を実行してきた「市民会館自主文化事業」を、市民による文化事業上演実行委員会「市民劇場」が平成15年9月から実施している。このような市民手づくりの文化活動をさらに進めていく必要がある。
- ・ 高度情報化の推進では、参考データ（日経パソコン e 都市ランキング）を見ると一定の成果を上げているのがわかる。
- ・ 市のホームページのアクセス件数は多くなってきており、単なる情報発信ではなく、例えば市民や各種団体、サークル、同窓会等で作成したホームページを市の関連するホームページとリンクさせて市内外の交流を促進させていく仕組みをつくるなど、何かにつなげていく意図をもった情報発信を心がけながら内容の充実を図るべきである。
- ・ 国際交流については、「ホームステイする外国人数」の把握の仕方を工夫して民間ベースでの

活動を把握し、民間の国際交流活動と連携しながら「国際交流の促進」の展開に努めることが必要と考える。

- ・ 道内のある高校では、生徒に観光案内をさせていると聞いている。教育的な面もあると思うが、若年層の交流の一環として美唄でも取り組むことも必要かと考える。
- ・ 美唄市は、観光入込客数では平成14年度では空知管内10市中10位となっており、H14年11月にラムサール登録湿地となった宮島沼やH14年度に約2万6千人の入場者実績を持つアルテピアッツァ美唄など、多くの地域資源を持ちながら生かしきれていない面がある。
- ・ 平成15年12月に交流の拠点となる温泉施設がオープンしたが、単なる温泉施設に終わらせることなく、多くの地域資源を結びつけて市内外の交流を促進するための方策をとることが必要である。たとえばアルテピアッツァ美唄など多くの人が訪れる施設で来訪者アンケートなどを行い、市内、市外別の来訪者ニーズを把握し、来訪者がその施設等にとどまらず、美唄山、炭鉱遺産、宮島沼、パークゴルフ場、ふるさとの見える丘、食の面では焼き鳥、鳥めしなど、多くの美唄の魅力にふれてみたい（行ってみたい、食べてみたい）と思うようなプログラムを作る必要がある。

まちづくり全体評価（行政改革推進委員会の評価）

現状評価及び今後の施策のあり方等について

- ・ 前期基本計画の開始年度から2ヵ年しか経過していないこともあり、目標を達成している項目は少ない状況である。しかし、多くは目標達成率が50%から90%の中に入っており、2年目としてはおおむね目標に向かって進んでいると考える。
- ・ 市民の施策満足度の把握や今後の施策展開の参考とするために、市民アンケートを実施しているが、そうしたアンケート結果を生かすためにも、対象者の絞り込みを十分行うとともに、きめ細かなニーズを把握した中で施策の展開を図るべきである。
- ・ 定住促進策については、温泉施設や宮島沼、アルテピアッツァ美唄など、市外からの交流人口を多くするためのプログラムを充実させながら、交流人口を将来的に定住人口の増加につながるような施策の展開が必要である。

- ・ 昨年の市町村合併に関して市民アンケート結果等を受けて美唄市は自立を選択した。これによって、美唄市民は自らの手でまちづくりをする決意を内外に示した。

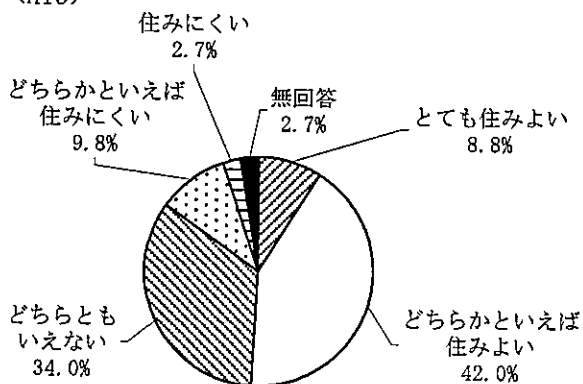
これからは、厳しい財政状況の中で、市民、地域及び関係団体と市が連携して「協働」のまちづくりを推進しなければならない。

その際に、施策の優先順位を決めていかなければならない場面が出てくると思うが、そうした場合に市は説明責任を果たしていきながら、市民との対話の中で施策の優先度・重点化を図る必要がある。私たち市民も、サービスのあり方について発想を転換し見直しすることはもちろん、市も自立のためのリーダーシップを発揮し、市民合意を前提にした無駄のない施策展開をしてもらいたい。

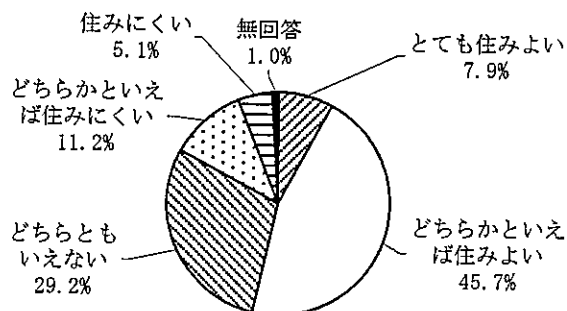
<美唄市の住みよさについて> まちづくり市民アンケート結果より

あなたは、美唄市は住みよいまちだと思いますか。

<H15>

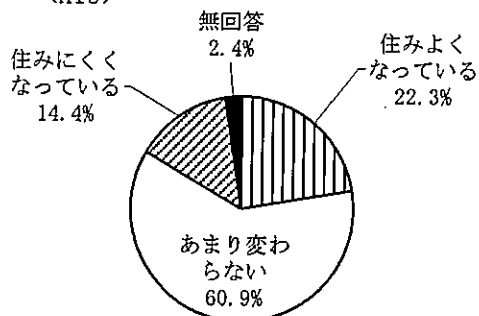


<H14>

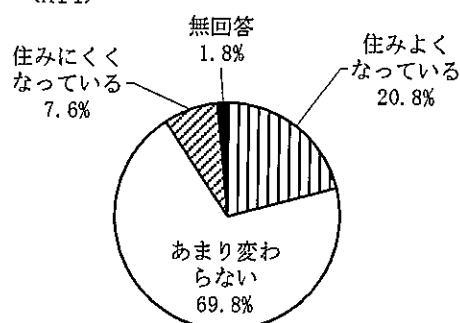


美唄市は年々住みよいまちになっていると思いますか。

<H15>



<H14>



美唄市行政改革推進委員会委員名簿

氏 名	備 考
かどわき ただお 門 脇 忠 夫	会 長
すずき ひろあき 鈴 木 裕 章	会長代行
すずき しげたか 鈴 木 重 孝	
あんど う なおき 安 藤 直 樹	
はない たかよし 花 井 敬 芳	
すずき みつえ 鈴 木 光 永	
みやにし かずよし 宮 西 一 好	

資料編

I 資料の補足説明

* 成果指標

「成果指標」とは、その仕事の目的や意図の達成度を測る「モノサシ」のことです。

* まちづくり市民アンケート

平成14年度から無作為抽出により毎年1,000人の市民を対象にアンケートを毎年7月～8月頃に実施（回答率は30～40%）。アンケートを毎年7月～8月頃に実施することから前年度の施策の反応がアンケート結果に現れると推計（例：平成14年に実施のアンケートは平成13年度施策の反応と推計）して、成果指標等に反映させています。資料中「まちづくり市民アンケート」と記載されているものは、このアンケートの結果を示しています。

目標達成率について

目標達成率とは、まちづくり評価のポイントである「3つの重点方向（福祉、環境、交流）」に関連する平成14年度における成果指標が、前期基本計画の最終年次である平成17年度の目標（数値化されたものに限る）にどれくらい近づいているかの割合のことをいいます。

なお、目標が数値化されていない成果指標については、例えば、H13年度より実績値を上げる目標がある場合については、H13年度の成果指標よりH14年度の実績値が上がっているか、否かを見てその傾向を表すことにしました。

* 目標の数値化について

目標については、できるだけ数値化するようにしてきましたが、中には数値化をするのが難しいと感じる成果指標もあります。

たとえば、「生きがいを持っている高齢者の割合」を把握するためにまちづくり市民アンケートの質問項目に加えて回答を得ていますが、理想はアンケートに回答してくれたすべての高齢者（65歳以上）の方が「生きがいを持っている」と回答してくれることです。しかし、平成13年度において80.2%の高齢者が「生きがいを持っている」と回答されている現状で、平成17年度までに100%の高齢者の方が「生きがいを持っている」と回答してくれるかという、この短期間では無理ではないかと思われます。

（そもそも、アンケートに回答する高齢者全員から「生きがいを持っている」と回答を得ることは理想ではあるが、あり得ないという考え方もあります。）

それでは、前期基本計画の最終年度である平成17年度までに、目標として「生きがいを持っている」と回答してくれる高齢者の割合をどれくらい増やすことが可能か、となると市の施策とそれを受け取る市民個々人の感じ方や、市の施策と関係のない要因で市民個々人の感じる部分があることなどを考えると悩むところです。結局このケースでは、当面目標を数値化せずに「少しずつ生きがいを持っている高齢者の割合を上げていくこと」を目標としました。このケースのように成果指標に対して目標が数値化されていないものもあります。今後は試行錯誤を重ねながら少しずつ目標の数値化ができるようしたいと考えています。

Ⅱ 「福祉」「環境」「交流」に関する目標達成度の傾向

1. 福祉のまちづくり

達成率を測定できた指標の内訳(全37指標)

* 凡例

- ◎: 目標に向かって着実に進んでいる
(目標達成率80%以上)
- : 目標に向かって進んでいる
(目標達成率50%~80%未満)
- △: 目標に向かってあまり進んでいない
(目標達成率50%未満)

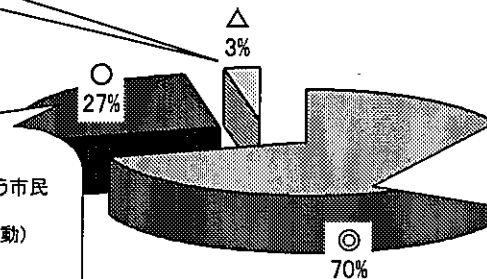
【H14: △の指標(1指標)】

・地区ふれあい広場事業実施回数

目標の進みぐあい(福祉のまち)

【H14: ○の指標(10指標)】

・美唄市は子育てしやすいまちだと思う市民の割合
・指導を受けた青少年数(非行防止活動)
・老人福祉施設の入所待機者数
・高齢者就業率
・ボランティア活動に参加している市民の割合
など



【H14: ◎の指標(26指標)】

・保育サービスが充実していると思う保護者割合
・乳幼児健診受診率
・子育てサークル数
・障がい者外出サービス利用者数
・市の施設の幼児、小学生利用者数
・15~64歳の病死者数
・健康づくりを行っている市民の割合
・障がい者グループホーム数
・介護保険居宅サービスの充足度
など

達成率を測定できなかった指標(全10指標)の傾向(H13年度比較)

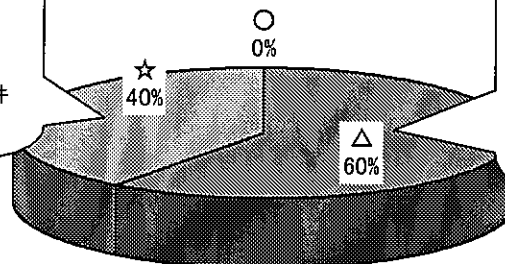
* 凡例

- : 目標に向かっている
(例: H13年度より実績値を上げる(下げる)目標がある場合で、かつH14年度の実績値が上がっている(下がっている)場合)
- △: 後退している
(例: H13年度より実績値を上げる(下げる)目標があるが、H14年度の実績値が下がった(上がった)場合)
- ☆: どちらとも言えない
(目標とする内容を示していない場合、又は建設工事など進行中の場合で完成されていないもの)

達成率を測定できなかった指標の傾向(福祉のまち)

【H14: ☆の指標(4指標)】

・乳幼児医療費助成件数
・児童手当受給世帯数
・人口10万人当たりの医師数
・重度心身障がい者医療費助成受給件数



【H14: △の指標(6指標)】

・子育てについて気軽に相談できる相手がいない両親の割合
・障がい者福祉施設入所待機者数
・生きがいを抱えている高齢者の割合
・地域活動に参加している市民の割合
など

2. 環境のまちづくり

達成率を測定できた指標の内訳(全15指標)

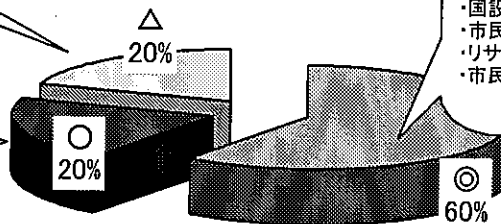
* 凡例

- ◎: 目標に向かって着実に進んでいる
(目標達成率80%以上)
- : 目標に向かって進んでいる
(目標達成率50%~80%未満)
- △: 目標に向かってあまり進んでいない
(目標達成率50%未満)

【H14: △の指標(3指標)】
・宮島沼の水質汚濁度(GOD)
・公園の再整備率
・地元管理公園数

目標の進みぐあい(環境のまち)

【H14: ○の指標(3指標)】
・緑の募金額
・美化コンクール参加地区数
・ISO14001取得企業数



【H14: ◎の指標(9指標)】
・用途地域内歩道付設率
・舗装率
・国設鳥獣保護区数
・市民1人当たりごみ排出量
・リサイクル率
・市民が行った植樹活動参加者数
など

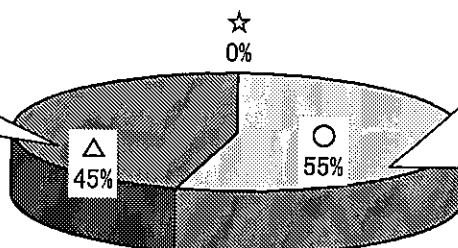
達成率を測定できなかった指標(全11指標)の傾向(H13年度比較)

* 凡例

- : 目標に向かっている
(例: H13年度より実績値を上げる(下げる)目標がある場合で、かつH14年度の実績値が上がっている(下がっている)場合)
- △: 後退している
(例: H13年度より実績値を上げる(下げる)目標があるが、H14年度の実績値が下がった(上がった)場合)
- ☆: どちらも言えない
(目標とする内容を示していない場合、又は建設工事など進行中の場合で完成されていないもの)

達成率を測定できなかった指標の傾向(環境のまち)

【H14: △の指標(5指標)】
・市内バス交通の充足度
・歩道除排雪の満足度
・し尿1トン当たり処理コスト
・ごみの不法投棄件数
・公園・緑地の利用率



【H14: ○の指標(6指標)】
・市内の道路が危険だと感じる市民の割合
・市内都市景観の満足度
・市民バス一人当たり乗車人数
・道路除排雪の満足度
・ごみ1トン当たり処理コスト
・街路樹整備市民満足度

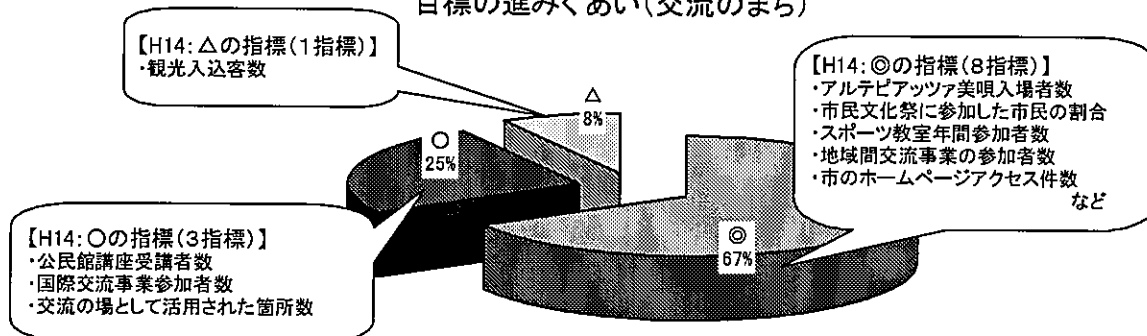
3. 交流のまちづくり

達成率を測定できた指標の内訳(全12指標)

* 凡例

- ◎: 目標に向かって着実に進んでいる
(目標達成率80%以上)
- : 目標に向かって進んでいる
(目標達成率50%~80%未満)
- △: 目標に向かってあまり進んでいない
(目標達成率50%未満)

目標の進みぐあい(交流のまち)

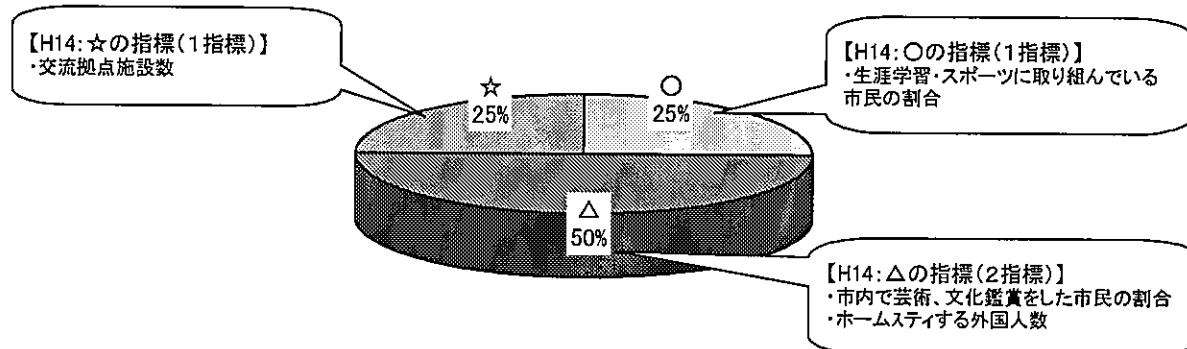


達成率を測定できなかった指標(全4指標)の傾向(H13年度比較)

* 凡例

- : 目標に向かっている
(例: H13年度より実績値を上げる(下げる)目標がある場合で、かつH14年度の実績値が上がっている(下がっている)場合)
- △: 後退している
(例: H13年度より実績値を上げる(下げる)目標があるが、H14年度の実績値が下がった(上がった)場合)
- ☆: どちらとも言えない
(目標とする内容を示していない場合、又は建設工事など進行中の場合で完成されていないもの)

達成率を測定できなかった指標の傾向(交流のまち)



Ⅲ 「福祉」「環境」「交流」に関連する目標値及び達成度

1. 福祉のまちづくりのための重点施策
(関連する成果指標)

①目標達成率内訳

80%以上	8
50%以上80%未満	5
50%未満	0

②達成率が測定できなかった指標(H13比較)

○少しずつ目標に向かっている	0
△少し後退している	1
☆どちらとも言えない	2

【1】総合的子育て支援の推進

【施策の方向】総合的子育て支援の推進(Ⅰ-1-①)

施策の方向	施策方向の対象	施策方向の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
総合的子育て支援の推進	・0～20歳未満の子ども ・両親(保護者)、妊産婦 ・母子家庭、父子家庭	・安心して子どもを育てられる ・子育てと仕事の両立ができる ・子どもが健康で伸び伸びと成長できる	美唄市は子育てしやすいまちだと思える市民の割合	49.0 %	32.3 %	60.0 %	53.8 %	17年度
			保育サービスの充実度	72.6 %	74.2 %	80.0 %	92.8 %	17年度
			乳幼児健診等再検・精検受診率	71.7 %	79.2 %	85.0 %	93.2 %	17年度

No.	施策名	施策の対象	施策の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
1	母子保健の充実	妊産婦 0～5歳の子どもの母子家庭	健診や医療を受け、早期発見・早期治療を行う	乳幼児健診受診率	96.5 %	96.1 %	98.0 %	98.1 %	17年度
				乳幼児医療費助成受給件数	7,894 件	8,599 件		☆	
2	母子・父子福祉の推進	母子家庭 父子家庭	子どもが健全に育つための経済的支援や交流の機会が得られる	母子・父子家庭交流度	1.37 %	1.59 %	2.0 %	79.5 %	17年度
3	子育て支援の充実	0～18歳未満の子ども 両親(保護者)	子育ての心理的負担や不安が解消される	子育てについて気軽に相談できる相手がいない両親の割合	6.2 %	23.0 %	0.0 %	△	17年度
				子育てサークル数	3 サークル	8 サークル	10 サークル	80.0 %	17年度
4	子育て家庭への経済的支援	0～20歳未満の子どもがいる世帯	子どもが健全に育つための経済的支援が受けられる	児童手当受給世帯数	795 世帯	765 世帯		☆	
				経済的困窮による子育て放棄数	0 人	0 人	0 人	100.0 %	17年度

◆「成果指標」の説明

Ⅰ 施策の方向 ▽	成果指標		取得方法	成果指標の算定式
	美唄市は子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合		まちづくり市民アンケート調査	美唄市は子育てしやすいまちだと思いますか。(小学生以下の子を持つ人) 1. はい 2. いいえ 1の回答者数／全回答者数
	保育サービスの充実度		保護者へのアンケート調査	市の保育サービスが充実していて安心して働けると感じている保護者数／回答者数(保育所の保護者)
	乳幼児健診等再検・精検受診率		業務取得	再検・精検を受けた乳幼児数/乳幼児健診、1歳6ヶ月健診、3歳児健診受診乳幼児うち再検診・精密検査が必要な者の数
No.	施策名	成果指標	取得方法	成果指標の算定式
1	母子保健の充実	乳幼児健診受診率	業務取得	受診児数／乳幼児健診、1歳6ヶ月健診、3歳児健診対象児数
		乳幼児医療費助成受給件数	業務取得	乳幼児医療費助成を受給した件数
2	母子・父子福祉の推進	母子・父子家庭交流度	業務取得	交流事業参加世帯数／母子・父子家庭世帯数
3	子育て支援の充実	子育てについて気軽に相談できる相手がいない両親の割合	まちづくり市民アンケート調査	あなたは、子育てで困ったときに、気軽に相談できる相手がいますか。 1. いる 2. いない 2の回答者数／全回答者数
		子育てサークル数	業務取得	市内の子育てサークルの数
4	子育て家庭への経済的支援	児童手当受給世帯数	業務取得	年度末に児童手当を受給している世帯数
		経済的困窮による子育て放棄数	業務取得	生活費がないなど経済的困窮により、子育てを放棄した件数

【施策の方向】子育て環境の整備(Ⅰ-Ⅰ-②)

施策の方向	施策方向の対象	施策方向の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
子育て環境の整備	・小学生から18歳未満の青少年 ・保護者、地域住民、指導者 ・子どもが利用できる施設(児童館、児童遊園地)	安全に遊んだり学んだりする場所がある	市の施設の幼児、小中学生利用者数	64,185人	72,591人	65,000人	111.7%	17年度

No.	施策名	施策の対象	施策の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
1	非行防止活動の推進	青少年 保護者 地域住民 指導者	非行を未然に防ぐ	指導を受けた青少年数	61人	90人	60人以下	66.7%	17年度
				逮捕、補導された青少年数	75人	72人	60人以下	83.3%	17年度
2	青少年指導者の育成	指導者	指導者が増える 指導者の指導力が向上する	地域子ども会指導者数	188人	206人	200人	103.0%	17年度
				研修会参加者数	8人	8人	15人	53.3%	17年度
3	青少年活動への支援	青少年 地域住民	屋外での体験を通して生きる力を学ぶ	体験活動参加者数	83人	69人	90人	76.7%	17年度

◆「成果指標」の説明

△施策の方向▽	成果指標		取得方法	成果指標の算定式
	市の施設の幼児、小中学生利用者数		業務取得	児童館、図書館、郷土史料館、アルテピアッツァ美唄、コミュニティセンター、温水プール、体育センター、総合体育館を利用した幼児、小中学生の数
No.	施策名	成果指標	取得方法	成果指標の算定式
1	非行防止活動の推進	指導を受けた青少年数	業務取得	1年間に街頭指導、列車添乗、祭典時指導で指導を受けた小学生から18歳未満の青少年の数
		逮捕、補導された青少年数	業務取得	1年間に逮捕又は補導された小学生から18歳未満の青少年数
2	青少年指導者の育成	地域子ども会指導者数	業務取得	各地域で活動している子ども会の指導者の総数
		研修会参加者数	業務取得	北海道青少年育成大会、青少年健全育成特別シンポジウムに参加した人数
3	青少年活動への支援	体験活動参加者数	業務取得	野外教育活動、野外活動に参加した青少年の数

1. 福祉のまちづくりのための重点施策 (関連する成果指標)

2生涯にわたる健康づくり

①目標達成率内訳

80%以上	9
50%以上80%未満	0
50%未満	0

②達成率が測定できなかった指標(H13比較)

○少しずつ目標に向かっている	0
△少し後退している	0
☆どちらとも言えない	1

【2】生涯にわたる健康づくりの推進

【施策の方向】生涯にわたる健康づくりの推進(Ⅰ-2-③)

施策の方向	施策方向の対象	施策方向の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
・生涯にわたる健康づくりの推進 ・医療の充実	・全市民 ・近隣市町村住民	・健康でいる人が増える ・生活習慣病の予防をし、死亡率を下げる ・いつでも安心して医療にかかれる	自分が健康だと思う市民の割合	73.6 %	64.9 %	75.0 %	86.5 %	17年度
			15～64歳の病死者数	61 人	49 人	50 人以下	102.0 %	17年度
			人口10万人当たりの医師数	250.1 人	250.6 人		☆	

No.	施策名	施策の対象	施策の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
1	健康づくりの推進	全市民	健康づくりを実践する市民が増える	健康づくりを行っている市民割合	58.4 %	59.6 %	65.0 %	91.7 %	17年度
				健康づくり組織数	10 組織	11 組織	12 組織	91.7 %	17年度
2	保健予防体制の整備	18歳以上の市民	定期的に健診を受け、早期発見・早期予防を行う	この1年間に健診を受けた市民割合	63.2 %	63.3 %	65.0 %	97.4 %	17年度
				健康相談を受けられる	7,176 件	7,647 件	7,200 件	106.2 %	17年度
3	医療の充実	全市民 近隣市町村住民	安心して医療を受けられる	市立病院の医業収支比率	81.2 %	86.1 %	97.5 %	88.3 %	17年度

【施策の方向】生涯学習活動の推進、スポーツレクリエーション活動の推進(Ⅴ-2-①②)

No.	施策名	施策の対象	施策の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
1	スポーツ・レクリエーションの推進	児童・生徒 18歳以上の市民 サークル・団体 スポーツ指導員 施設・設備	気軽にスポーツができる	スポーツ教室年間参加者数	1,125 人	1,355 人	1,300 人	104.2 %	17年度
				スポーツ団体加入者数	3,448 人	3,352 人	3,500 人	95.8 %	17年度

◆「成果指標」の説明

Ⅴ 施策の方向	成果指標		取得方法	成果指標の算定式
	自分が健康だと思う市民の割合		まちづくり市民アンケート調査	あなたは、自分が健康だと思いますか。 1. 健康だと思う 2. どちらかという健康だと思う 3. どちらかという健康ではないと思う 4. 健康ではないと思う
	15～64歳の病死者数		北海道地域保健情報年報	15～64歳で病気で死亡した市民の数
	人口10万人当たり医師数		北海道地域保健情報年報	年度末の医師数÷9月末住民基本台帳人口×10万人＝78÷31,125×10万人
No	施策名	成果指標	取得方法	成果指標の算定式
1	健康づくりの推進	健康づくりを行っている市民割合	まちづくり市民アンケート調査	あなたは、健康づくりのために取り組んでいることはありますか。 1. はい 2. いいえ 1の回答者のうち3つ以上の取組をしている人数／全回答者数
		健康づくり組織数	業務取得	健康づくり組織の数
2	保健予防体制の整備	この1年間に健診を受けた市民割合	まちづくり市民アンケート調査	あなたは、この1年間に健康診断を受けましたか。 1. 受けた 2. 受けていない 1の回答者数／全回答者数
		健康相談件数	業務取得	年間の健康相談件数
3	医療の充実	市立病院の医業収支比率	業務取得	医業収益／医業費用×100

【施策の方向】生涯学習活動の推進、スポーツレクリエーション活動の推進(Ⅴ-2-①②)

No.	施策名	成果指標	取得方法	成果指標の算定式
1	スポーツ・レクリエーションの推進	スポーツ教室年間参加者数	業務取得	スポーツ教室に参加した市民の数
		スポーツ団体加入者数	業務取得	体育協会構成団体・スポーツ少年団・家庭婦人スポーツクラブの加入者数

◆「成果指標」の説明

No.	施策名	成果指標	取得方法	成果指標の算定式
1	スポーツ・レクリエーションの推進	スポーツ教室年間参加者数	業務取得	スポーツ教室に参加した市民の数
		スポーツ団体加入者数	業務取得	体育協会構成団体・スポーツ少年団・家庭婦人スポーツクラブの加入者数

3バリアフリーなど福祉のまち

1. 福祉のまちづくりのための重点施策
(関連する成果指標)

①目標達成率内訳

80%以上	9
50%以上80%未満	5
50%未満	1

②達成率が測定できなかった指標(H13比較)

○少しずつ目標に向かっている	0
△少し後退している	5
☆どちらとも言えない	1

【3】バリアフリーなど福祉のまちづくりの推進

【施策の方向】障がい者の自立と社会参加の推進(1-3-5)

施策の方向	施策方向の対象	施策方向の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
障がい者の自立と社会参加の推進	・障がい者(身体、知的、精神) ・介助者 ・難病患者	・自己選択で社会参加(移動、交流、就労等)や日常生活が営める ・生活や治療が行え、介助の負担が減る	障がい者グループホーム数	13 ホーム	14 ホーム	17 ホーム	82.4%	17年度
			社会参加ができてい る障がい者の割合	87.0 %	87.0 %	90.0 %	96.7%	17年度

No.	施策名	施策の対象	施策の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
1	保健・療育の充実	障がい者	安心して医療を受けられる	重度心身障がい者医療費助成受給件数	18,399 件	19,122 件		☆	
2	在宅福祉サービスの充実	条件に該当する障がい者 介助者 難病患者	日常生活の質が維持向上する・介助負担が軽減される	在宅福祉サービスの満足度	66.0 %	67.3 %	80.0 %	84.1%	17年度
3	施設福祉の充実	在宅生活が困難な障がい者	利用希望者が情報を得て、入所できる	入所待機者数	2 人	2 人	0 人	△	17年度
4	自立を目指す基盤づくり	障がい者	障がいに合わせて経済的自立ができ、生きがいがある	就労している障がい者の割合	9.1 %	9.1 %		△	17年度
				外出サービス利用者数	521 人	1,471 人	1,600 人	91.9%	17年度

◆「成果指標」の説明

△施策の方向▽	成果指標		取得方法	成果指標の算定式
	障がい者グループホーム数		業務取得	障がい者グループホームを行っているホーム数
	社会参加ができていいる障がい者の割合		担当課によるアンケート調査 (H13及びH14は、H14実施のアンケート結果の数字)	社会参加活動ができていいる障がい者数／回答障がい者数
No.	施策名	成果指標	取得方法	成果指標の算定式
1	保健・療育の充実	重度心身障がい者医療費助成受給件数	業務取得	重度心身障がい者医療費助成を受給した件数
2	在宅福祉サービスの充実	在宅福祉サービスの満足度	担当課によるアンケート調査 (H13及びH14は、H14実施のアンケート結果の数字)	在宅福祉サービスに満足している障がい者数／在宅福祉サービスを受けていいる障がい者数
3	施設福祉の充実	入所待機者数	業務取得	障がい者福祉施設に入所を希望する身体障がい者及び知的障がい者のうち、入所待機している障がい者数
4	自立を目指す基盤づくり	就労している障がい者の割合	担当課によるアンケート調査	福祉就労を含め仕事に就いていいる障がい者数／障がい者数
		外出サービス利用者数	業務取得	福祉バス、手話通訳派遣、運転免許取得費補助、自動車改造改造費補助、福祉タクシー料金助成及びH14より開始のガイドヘルプサービスを受けていいる障がい者の延べ人数

【施策の方向】高齢者の自立と生きがいのづくりの推進(Ⅰ-3-⑥)

施策の方向	施策方向の対象	施策方向の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
高齢者の自立と生きがいのづくりの推進	・高齢者(元気高齢者、要介護者(高齢障がい者)) ・介護者 ・介護事業者	・高齢期を自立して暮らす ・生きがいを持っている高齢者が増える	要介護高齢者率	12.7 %	14.4 %	12 %以下	83.3%	17年度
			生きがいを持っている高齢者の割合	80.2 %	72.7 %		△	17年度

No.	施策名	施策の対象	施策の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
1	保健・予防の充実	高齢者	介護が必要にならないように自分の健康に関心を深める	健康のために取組をしている高齢者の割合	66.3 %	71.3 %	70.0 %	101.9%	17年度
2	在宅福祉サービスの充実	元気高齢者 要介護者 介護者	自宅で生活が送れる・介護負担が軽減される	介護保険居宅サービスの充足度	81.0 %	93.1 %	90.0 %	103.4%	17年度
				在宅福祉トラブル件数	1 件	5 件	0 件	△	17年度
3	施設福祉の充実	高齢者 要介護者 介護事業者	24時間ケアの中で生活できる	入所待機者数	39 人	51 人	30 人	58.8%	17年度
				福祉施設トラブル件数	0 件	0 件	0 件	100.0%	17年度
4	自立と生きがいのづくりの推進	高齢者	生きがいを持って暮らせる	高齢者の就業率	18.8 %	13.3 %	20.0 %	66.5%	17年度

◆「成果指標」の説明

◆「成果指標」の説明

△ 施策の 方向 ▽	成果指標		取得方法	成果指標の算定式
	要介護高齢者率		業務取得	介護認定を受けている高齢者数／高齢者数(H13年10月現在)
	生きがいを持っている高齢者の割合		まちづくり市民アンケート調査	あなたはいま生きがいをもって暮らしていますか。 1. はい 2. いいえ 65歳以上の1の回答者数／65歳以上の回答者数
No.	施策名	成果指標	取得方法	成果指標の算定式
1	保健・予防の充実	健康のために取組をしている高齢者の割合	まちづくり市民アンケート調査	あなたは、健康づくりのために取り組んでいることはありますか。 1. はい 2. いいえ 65歳以上の1の回答者数のうち3つ以上の取り組みをしている人数／65歳以上の回答者数
2	在宅福祉サービスの充実	介護保険居宅サービスの充足度	担当課によるアンケート調査	介護保険居宅サービスに充足している人の数／回答者数(介護保険居宅サービスを受けている人)～ H13はH12調査結果、H14はH14調査結果
		在宅福祉トラブル件数	業務取得	市で苦情として受けた在宅福祉サービスでのトラブル件数
3	施設福祉の充実	入所待機者数	業務取得	老人福祉施設に入所を希望する高齢者のうち入所待機している高齢者数(養護・特養)
		福祉施設トラブル件数	業務取得	市で苦情として受けた老人福祉施設でのトラブル件数(同上)
4	自立と生きがいづくりの推進	高齢者の就業率	まちづくり市民アンケート調査	あなたのお仕事は 1. 勤め人 2. 公務員 3. 農林業・自営業 4. パート・アルバイト 5. 主婦(家事専業) 6. 学生 7無職 8その他 65歳以上の1. 2. 3. 4の回答者数／65歳以上の回答者数

【施策の方向】コミュニティ活動の推進、地域福祉・ボランティア活動の促進(Ⅰ-4-①②)

施策の方向	施策方向の対象	施策方向の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
・コミュニティ活動の推進 ・地域福祉、ボランティア活動の促進	・町内会 ・市民、地域住民 ・集会施設	・地域活動に積極的に参加する人が増える ・ボランティア活動に参加する人が増える	地域活動に参加している市民割合	70.0 %	65.7 %		△	17年度
			ボランティア活動に参加している市民割合	24.8 %	21.5 %	30.0 %	71.7 %	17年度

No.	施策名	施策の対象	施策の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
1	地域福祉の充実	町内会 地域住民	地域福祉活動が増える	地区ふれあい広場事業実施回数	年13回	年13回	年100回	13.0%	17年度
2	ボランティア活動の促進	市民	活動を理解してもらい、担い手が育つ	ボランティア・センター団体登録数・個人登録者数	28団体 88人	29団体 123人	30団体 200人	96.7% 61.5%	17年度
			ネットワークができる	ボランティア交流行事参加者数	82人	500人	700人	71.4%	17年度
3									

◆「成果指標」の説明

施策の方向	成果指標		取得方法	成果指標の算定式
	地域活動に参加している市民割合		まちづくり市民アンケート調査	あなたは、町内会自治会の行事に参加していますか。 1. 参加している 2. ときどき参加している 3. 参加していない 1. 2の回答者数／全回答者数
	ボランティア活動に参加している市民割合		まちづくり市民アンケート調査	あなたは、ボランティア活動に参加したいと思いますか。 1. 積極的に参加している 2. ときどき参加している 3. 参加したいが機会がない 4. 参加したくない 5. 考えたことがない 1. 2の回答者数／全回答者数
No.	施策名	成果指標	取得方法	成果指標の算定式
1	地域福祉の充実	地区ふれあい広場事業実施回数	業務取得	1年間に実施された地区ふれあい広場事業の回数
2	ボランティア活動の促進	ボランティア・センター団体登録数・個人登録者数	業務取得	ボランティア・センターに登録されている団体数・個人数
		ボランティア交流行事参加者数	業務取得	ボランティア同士の情報交換等のための行事への参加者数

2. 環境のまちづくりのための重点施策
(関連する成果指標)

①目標達成率内訳

80%以上	2
50%以上80%未満	0
50%未満	0

②達成率を測定できなかった指標(H13比較)

○少しずつ目標に向かっていている	4
△少し後退している	2
☆どちらとも言えない	0

【1】快適な冬の暮らしの実現

【施策の方向】都市基盤の着実な整備、快適な生活環境づくりの推進(Ⅱ-1-①②)

施策の方向	施策方向の対象	施策方向の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
・都市基盤の着実な整備 ・快適な生活環境づくりの推進	・道路利用者及び道路周辺住民、個人住宅居住者、バス利用者	基盤的な整備を進めることで、市民にとって日常生活において快適で安全な生活ができる環境を確保する	市内の道路が危険だと思う市民の割合	86.0 %	83.0 %		○	17年度
			市内都市景観の満足度	53.6 %	54.1 %		○	17年度

No	施策名	施策の対象	施策の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
1	道路の整備	道路利用者 道路周辺住民 道路	道路を安全で快適に利用できる	用途地域内歩道付設率	21.7 %	22.0 %	22.4 %	98.2%	17年度
				舗装率	47.5 %	48.4 %	50.0 %	96.8%	17年度
2	交通体系の整備	バス利用者	移動手段を確保し、利便性を高める	市内バス交通の充足度	80.4 %	76.1 %		△	17年度
				バス1台当たり乗車人数	6 人	8.8 人		○	17年度
3	冬期活動の確保	道路利用者 道路周辺住民 個人住宅居住者	冬期も道路や住宅周辺が安全に利用できる	道路除排雪の満足度	32.4 %	34.0 %		○	17年度
				歩道除排雪の満足度	31.8 %	29.3 %		△	17年度

◆「成果指標」の説明

A 施策の方向 V	成果指標		取得方法	成果指標の算定式
	市内の道路が危険だと感じる人の割合		まちづくり市民アンケート調査	あなたは、道路を通行しているとき道路施設の整備上「危険」と感じたことがありますか。 1. ある 2. ない 1の回答者数／全回答者数
	市内都市景観の満足度		まちづくり市民アンケート調査	1. 満足 2. やや満足 3. ふつう 4. やや不満 5. 不満 1. 2. 3の回答者数／全回答者数
No.	施策名	成果指標	取得方法	成果指標の算定式
2	道路の整備	用途地域内歩道付設率	業務取得	歩道設置済み市道延長／用途区域内市道延長
		舗装率	業務取得	舗装済み市道延長／市道延長
3	交通体系の整備	市内バス交通の充足度	まちづくり市民アンケート調査	あなたは、通勤・通学や買い物などへ行くときに近くにバス路線がなかったり、使いたい時間帯の便がないなどで困っていますか。1. 困っている 2. 困っているが現状のままで我慢できる 3. 困っていない 2. 3の回答者数／全回答者数
		バス1台当たり乗車人数	業務取得	年間の市営バス乗降客数／1日当たり運行バス便数／運行日数
4	冬期における道路交通の確保	道路除排雪の満足度	まちづくり市民アンケート調査	1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満 1. 2. 3の回答者数／全回答者数
		歩道除排雪の満足度	まちづくり市民アンケート調査	1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満 1. 2. 3の回答者数／全回答者数

★参考1. 融雪施設設置資金利子補給事業実施状況

	H13	H14	制度利用累積件数(H14年度末)
融資決定件数	23	8	累積120施設

★参考2. 福祉除雪事業実施状況

	H13	H14	備考
利用世帯数	64	74	屋根の雪下ろしや窓周りの除雪

* 対象は低所得の高齢者、障がい者、母子寡婦等で自力で除雪が困難な世帯(利用料金は無料)

★参考3. 間口除雪事業実施状況

	H13	H14	備考
利用世帯数	109	131	道路に面する間口約2.7mの除雪

* 対象は自力で除雪が困難な次の世帯

①70歳以上の世帯、②身障1級又は2級の者で構成される世帯、③①又は②の者で構成される世帯

冬期間の利用料金(合計)は生活保護世帯=無料、市民税非課税世帯=1万円、その他の世帯=2万円

2宮島沼の自然環境保全

2. 環境のまちづくりのための重点施策 ①目標達成率内訳 (関連する成果指標)

80%以上	1
50%以上80%未満	0
50%未満	1

②達成率を測定できなかった指標(H13比較)

○少しずつ目標に向かっている	0
△少し後退している	0
☆どちらとも言えない	0

【2】宮島沼の自然環境の保全

【施策の方向】自然環境の保全、環境悪化の防止、環境行動の推進、水辺環境整備、水質の保全 (Ⅲ-1-①②③④⑤)

No.	施策名	施策の対象	施策の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
1	自然環境の保全	市内の自然環境 (特に宮島沼)	良好な自然環境を維持し、保全活用する	国設鳥獣保護区数	0 か所	1 か所	1 か所	100.0%	17年度
				宮島沼の水質汚濁度(COD)	18.9 mg/ℓ	20.0 mg/ℓ	8 mg/ℓ	40.0%	17年度

◆「成果指標」の説明

No.	施策名	成果指標	取得方法	成果指標の算定式
1	自然環境の保全	国設鳥獣保護区数	業務取得	市内で指定された国設鳥獣保護区の数
		宮島沼の水質汚濁度(COD)	業務取得	宮島沼の直近の水質検査によるCOD(化学的酸素要求量)の数値

* 参考

①宮島沼は、平成14年11月1日に国設鳥獣保護区に(これにより区域内(41ha)の鳥獣の原則捕獲禁止)及び特別保護地区(国設鳥獣保護区と同じ41ha)になり、水面の埋立・立木伐採等の制限(要許可)地区となりました。

②宮島沼は、平成14年11月18日にラムサール条約の登録湿地になりました。

3循環型社会の構築

2. 環境のまちづくりのための重点施策 (関連する成果指標)

①目標達成率内訳

80%以上	3
50%以上80%未満	0
50%未満	0

②達成率を測定できなかった指標 (H13比較)

○少し目標ずつに向かっている	1
△少し後退している	2
☆どちらとも言えない	0

【3】循環型社会の構築

【施策の方向】ごみの減量化、リサイクルの推進、廃棄物の適正処理の推進(Ⅲ-2-①②)

施策の方向	施策方向の対	施策方向の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
・ごみの減量化、リサイクルの推進 ・廃棄物の適正処理の推進	・市民(家庭)、事業所 ・ごみ、し尿 ・ごみ処理センター ・し尿処理場 ・リサイクルセンター	・廃棄物の排出量を抑えるとともに再資源化を推進し、最終処分量を減らす ・廃棄物を適正かつ効率的に処理し、コストを下げる	市民一人当たりごみ処分量(焼却・埋立量)	0.39 t	0.42 t	0.35 t	83.3%	17年度
			ごみ1トン当たり処理コスト	19,687 円	16,894 円		○	17年度
			し尿1トン当たり処理コスト	11,206 円	11,331 円		△	17年度

No	施策名	施策の対象	施策の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
1	ごみ排出量の抑制	市民(家庭)事業所	ごみの排出量を減らす	市民1人当たりごみ排出量	0.45 t	0.48 t	0.4 t	83.3%	17年度
2	リサイクルの推進	市民(家庭)事業所リサイクルセンター	ごみの再資源化を進める	リサイクル率	61.32 %	56.4 %	66.0 %	85.5%	17年度
3	ごみの適正処理体制の充実	処理すべきごみ ごみ処理センター	適正かつ効率的に処理される	ごみ1トン当たり処理コスト	19,687 円	16,894 円			17年度
				ごみの不法投棄件数	4 件	28 件	0 件	△	17年度

施策の方向と重複のためカウントしない

◆「成果指標」の説明

入 策 の 方 向 V	成果指標		取得方法	成果指標の算定式
	市民1人当たりごみ処分量(焼却・埋立量)		業務取得	(年間ごみ収集量-資源ごみ処分量)/年度末住民基本台帳人口
	ごみ1トン当たり処理コスト		業務取得	(ごみ収集運搬費+ごみ処理センター管理運営費)/年間埋め立て処分量+年間焼却処分量
	し尿1トン当たり処理コスト		業務取得	(し尿収集運搬費+し尿処理場管理運営費)/年間処理量
No	施策名	成果指標	取得方法	成果指標の算定式
1	ごみ排出量の抑制	市民1人当たりごみ排出量	業務取得	年間ごみ収集量/年度末住民基本台帳人口
2	リサイクルの推進	リサイクル率	業務取得	資源ごみ処理量/資源ごみ潜在量(資源ごみ収集量+可燃・不燃ごみ中の資源ごみ量)
3	ごみの適正処理体制の充実	ごみ1トン当たり処理コスト	業務取得	(ごみ収集運搬費+ごみ処理センター管理運営費)/年間埋め立て処分量+年間焼却処分量
		ごみの不法投棄件数	業務取得	市で対応した件数

施策の方向と重複

2. 環境のまちづくりのための重点施策

(関連する成果指標)

①目標達成率内訳

80%以上	3
50%以上80%未満	3
50%未満	2

4 緑作りや環境に配慮した活動

②達成率を測定できなかった指標
(H13比較)

○少し目標ずつに向かっている	1
△少し後退している	1
☆どちらとも言えない	0

【4】緑づくりや環境に配慮した活動

【施策の方向】公園緑地の整備、緑化の推進、森林の維持と活用(Ⅱ-2-①②③)

施策の方向	施策方向の対象	施策方向の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
・公園緑地の整備 ・緑化の推進 ・森林の維持保全	・市民(公園利用者、 街路歩行者) ・公園、緑地 ・公共施設 ・街路 ・市内森林	・市民が緑化意識を 高め、緑を大切にす るとともに、安らぎを 得られる緑地等の 環境を確保する	公園・緑地の利用 率	51.5 %	51.3 %		△	17年度
			市民一人当たり 公園面積	21.7 m ²	21.8 m ²	(達成 済) 20.0 m ²	109.0%	17年度
			街路樹整備の 満足度	62.7 %	63.6 %		○	17年度

No.	施策名	施策の対象	施策の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
1	公園緑地の整備	公園利用者 公園・緑地 自治組織	安らぎを感じ、快適に使える 公園を自ら管理し、愛着が 持てる	公園の再 整備率	10.0 %	20.0 %	100.0 %	20.0%	17年度
				地元管理 公園数	1 公園	4 公園	10 公園	40.0%	17年度
2	緑化の推進	市民 街路歩行者 街路 公共施設	緑化意識を高め、市内の緑 を増やす	緑の募金額	37 万円	32 万円	50 万円	64.0%	17年度
				市民が行った 植樹活動の参 加者数	100 人	120 人	100 人	120.0%	17年度
3	森林の維持と活用	市内の森林	森林の公益的な機能が 維持・保全され、活用さ れる	森林面積	12,347 ha	12,338 ha	12,348 ha	99.9%	17年度
				有効に活用し た森林の箇所 数	0 か所	0 か所	2 か所	0%	17年度

◆「成果指標」の説明

A 施策の 方向 V	成果指標		取得方法	成果指標の算定式
	公園・緑地の利用率		まちづくり市民アンケート調 査	あなたは、近くの公園や緑地をどれくらい利用していますか(○ はひとつだけ) 1. よく利用する(週に数回程度) 2. ときど き利用する(月に数回程度) 3. たまに利用する(年に数回程 度) 4. ほとんど利用しない 1. 2. 3.の回答者数/全回答 者数
	市民1人当たり公園面積		業務取得	(都市公園・都市緑地面積+その他公園面積)/年度末住民基 本台帳人口
	街路樹整備の満足度		まちづくり市民アンケート調 査	1. 満足 2. やや満足 3. ふつう 4. やや不満 5. 不満 1. 2. 3.の回答者数/全回答者数
No.	施策名	成果指標	取得方法	成果指標の算定式
1	公園緑地の整備	公園の再整備 率	業務取得	再整備済公園数/街区公園数
		地元管理公園 数	業務取得	街区公園数のうち町内会等への草刈り等の業務委託をした公園 数
2	緑化の推進	緑の募金額	業務取得	緑の募金の年間募金額
		市民が行った 植樹活動の参 加者数	業務取得	市が支援した市民の自主的な植樹活動への参加者数
3	森林の維持と活用	森林面積	業務取得	美唄市の森林面積
		有効に活用し た森林の箇所 数	業務取得	市民利用のために活用した森林の箇所数

【施策の方向】環境行動の推進(Ⅲ-1・3-③)

No.	施策名	施策の対象	施策の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
1	環境行動の推進	市民 地域・町内会 企業 市	環境に対する意識が高く、 環境保全活動を行っている	美化コンクール参加地区数	113 地区	109 地区	150 地区	72.7%	17年度
				ISO14001取得企業数	2 社	3 社	5 社	60.0%	17年度

◆「成果指標」の説明

No.	施策名	成果指標	取得方法	成果指標の算定式
1	環境行動の推進	美化コンクール参加地区数	業務取得	環境美化コンクールに参加した地区数
		ISO14001取得企業数	業務取得	環境管理に関する国際認証ISO14001を取得した企業数の累計

3. 交流のまちづくりのための重点施策
(関連する成果指標)

①目標達成率内訳		②達成率が測定できなかった指標(H13比較)	
80%以上	5	○少しずつ目標に向かっている	1
50%以上80%未満	1	△少し後退している	1
50%未満		☆どちらとも言えない	

【1】生涯学習活動の推進

【施策の方向】生涯学習活動の推進、スポーツレクリエーション活動の推進(Ⅴ-2-①②)

施策の方向	施策の方向の対象	施策方向の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
・生涯学習活動の推進 ・スポーツレクリエーション活動の推進	全市民(児童・生徒、18歳以上の市民、サークル、文化団体、スポーツ指導員)、文化財、施設・設備	いつでも、どこでも自分に適した学習が選択できる	生涯学習・スポーツに取り組んでいる市民の割合	36.5 %	38.4 %		○	17年度
			市内で芸術、文化鑑賞をした市民の割合	31.0 %	27.1 %		△	17年度

No.	施策名	施策の対象	施策の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
1	芸術・文化の振興	児童・生徒18歳以上の市民 サークル・団体 文化財 施設・設備	身近に芸術・文化に触れる機会がある	アルテピアッツァ美咲入場者数	14,917 人	26,615 人	27,000 人	98.6%	17年度
				芸術文化イベント鑑賞者数	7,400 人	15,317 人	10,000 人	153.2%	17年度
2	自主文化活動の促進	文化団体 サークル	継続的に文化活動に参加している	市民文化祭に参加した市民の数	1,297 人	1,556 人	1,500 人	103.7%	17年度
				公民館講座受講者数	年間173 人	年間155 人	年間200 人	77.5%	17年度
3	スポーツ・レクリエーションの推進	児童・生徒18歳以上の市民 サークル・団体 スポーツ指導員 施設・設備	気軽にスポーツができる	スポーツ教室年間参加者数	1,125 人	1,355 人	1,300 人	104.2%	17年度
				スポーツ団体加入者数	3,448 人	3,352 人	3,500 人	95.8%	17年度

◆「成果指標」の説明

施策の方向	成果指標		取得方法	成果指標の算定式
	生涯学習・スポーツに取り組んでいる市民の割合		まちづくり市民アンケート調査	あなたは生涯学習として何か習い事や趣味の活動を行っていますか。1 はい 2 いいえ 1の回答者数/全回答者数「はい」とお答えの方へ、具体的にはどんな分野ですか。(○はいくつでも) 1文化(書道・陶芸・音楽・絵画・演劇等) 2娯楽(囲碁・将棋等) 3教養(語学・歴史・文学等) 4技術(パソコン・資格等) 5国際交流・理解 6 ボランティア全般 7伝統文化(踊り・お祭り等) 8レクリエーション(つり・ハイキング等) 9スポーツ(テニス・野球・体力づくり等) 10運動(ウォーキング・健康体操等) 11その他
	市内で芸術、文化鑑賞をした市民の割合		まちづくり市民アンケート調査	あなたは、この1年間に市内で行われた音楽会、美術展、演劇など、芸術・文化の鑑賞のために足を運びましたか。 1. はい 2. いいえ 1の回答者数/全回答者数
No.	施策名	成果指標	取得方法	成果指標の算定式
1	芸術・文化の振興	アルテピアッツァ美咲入場者数	業務取得	アルテピアッツァ美咲の年間入場者数
		芸術文化イベント鑑賞者数	業務取得	市主催又は補助を行った芸術文化イベントを鑑賞した人の数(アルテピアッツァ美咲分を除く。)
2	自主文化活動の促進	市民文化祭に参加した市民の数	業務取得	市民文化祭に出展、出演した市民の数
		公民館講座参加者数	業務取得	公民館講座に参加した市民の数
3	スポーツ・レクリエーションの推進	スポーツ教室年間参加者数	業務取得	スポーツ教室に参加した市民の数
		スポーツ団体加入者数	業務取得	体育協会構成団体・スポーツ少年団・家庭婦人スポーツクラブの加入者数

2高度情報化の推進+3交流拠点施設の整備

3. 交流のまちづくりのための重点施策
(関連する成果指標)

①目標達成率内訳

80%以上	3
50%以上80%未満	2
50%未満	1

②達成率が測定できなかった指標(H13比較)

○少しずつ目標に向かっている	
△少し後退している	1
☆どちらとも言えない	1

【2】高度情報化の推進 及び 【3】交流拠点施設の整備

【施策の方向】スポーツ・レクリエーションの里づくり構想の推進、国内・国際交流活動の推進、交流基盤の整備(V-3-①②③)

施策の方向	施策の方向の対象	施策方向の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
・スポーツ・レクリエーションの里づくり構想の推進 ・国内・国際交流活動の推進 ・交流基盤の整備	・市民 ・市外の住民 ・外国人 ・留学生 ・団体 ・施設(交流基盤施設施設・道路・交流サイン)	・他地域との交流を通して知識や視野を広げる ・交流しやすくする ・地域情報を受発信できる	地域間交流事業の参加者数	1,354 人	1,487 人	1,500 人	99.1%	17年度
			国際交流事業の参加者数	10 人	10 人	14 人	71.4%	17年度
			市のホームページのアクセス件数	122,088 件	186,844 件	200,000 件	93.4%	17年度

No.	施策名	施策の対象	施策の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
1	地域間交流の促進	市民 市外の住民 団体	交流を通して知識や視野を広げる	地域間交流事業の参加者数	1,354 人	1,487 人	1,500 人	99.1%	17年度
2	国際交流の促進	市民 外国人 留学生 団体	国際感覚を身に付ける	ホームステイする外国人数	0 人	0 人	年間20 人	△	17年度
3	交流環境の整備	市民 市外の住民 施設	交流の場をつくり、交流しやすくする	交流拠点施設数	0 か所	0 か所	1 か所	☆	17年度
				交流の場として活用されたか所数	7 か所	7 か所	14 か所	50.0%	17年度
4	地域情報化の推進	市民	パソコンなどの情報通信技術を身に付ける	インターネットを利用している市民の割合	31.7 %	26.3 %		△	17年度

◆「成果指標」の説明

A 施策の方向 V	成果指標		取得方法		成果指標の算定式	
	地域間交流事業の参加者数		業務取得		美有サミット・南空知ふるさと市町村圏組合事業・ふるさと交流・炭鉱の記憶推進事業・青少年広域交流事業の参加者数	
	国際交流事業の参加者数		業務取得		青年・女性国際交流事業・大韓民国ホームステイ事業・国際交流事業の参加者数	
	市のホームページのアクセス件数		業務取得		市のホームページに市内外からアクセスされた件数	
No.	施策名	成果指標	取得方法		成果指標の算定式	
1	地域間交流の促進	地域間交流事業の参加者数	業務取得		美有サミット・南空知ふるさと市町村圏組合事業・ふるさと交流・炭鉱の記憶推進事業・青少年広域交流事業の参加者数	
2	国際交流の促進	ホームステイする外国人数	業務取得		市内でホームステイの受け入れをした外国人の数(市が関与したものに限る)	
3	交流環境の整備	交流拠点施設数	業務取得		整備された交流拠点施設数	
		交流の場として活用された箇所数	業務取得		交流の場として活用された市内の施設等の箇所数(アルテピアッツァ美唄、東明公園、農道離着陸場、農業体験施設 4)	
4	地域情報化の推進	インターネットを利用している市民の割合	まちづくり市民アンケート調査		あなたのご家庭ではインターネットやホームページを見たり、利用したりしていますか。 1. 自分又は家族の誰かが利用している 2. 将来利用する計画がある 3. 利用したいが、やり方が分らない 4. 利用するつもりはない 1の回答者数/全回答者数	

【施策の方向】地域資源を生かした観光の振興(Ⅳ-3-①②③)

施策の方向	施策の方向の対象	施策方向の意図	成果指標	平成13年度	平成14年度	目標値	達成度	目標年度
地域資源を生かした観光の振興	観光客・市外の人、観光資源	美唄市の観光の魅力が増し、観光来訪者が増加する。	観光入込客数	17.5 万人	18.0 万人	40.0 万人	45.0%	17年度

◆「成果指標」の説明

	成果指標	取得方法	成果指標の算定式
△ 施策の方向 ▽	観光入込客数	業務取得	1年間の観光入込客数

近隣・類似都市との比較

区分	美唄市	札幌市	夕張市	岩見沢市	芦別市	赤平市	三笠市	滝川市	砂川市
行政面積(km ²)	277.61	1,121.12	763.36	204.74	864.90	129.88	302.64	115.82	78.69
総人口(平成12年国勢調査)	31,183	1,822,368	14,791	85,029	21,026	15,753	13,561	46,861	21,072
総人口(平成15年3月31日)	30,021	1,845,811	14,438	83,572	20,268	15,478	12,954	46,670	20,571
人口密度(平成12年国勢調査)	112	1,625	19	415	24	121	45	405	268
世帯数(平成12年国勢調査)	12,437	781,948	6,878	33,168	8,692	6,635	5,887	18,768	8,448
1世帯当たり平均人口	2.4	2.4	2.1	2.5	2.3	2.3	2.2	2.5	2.4
第1次産業人口(平成12年国勢調査)	2,070	3,789	844	2,292	1,092	324	406	1,340	598
第2次産業人口(平成12年国勢調査)	3,826	157,778	1,536	8,654	2,819	2,269	1,717	4,980	2,763
第3次産業人口(平成12年国勢調査)	8,035	671,443	4,022	27,911	5,233	3,879	3,010	15,977	6,171
歳入総額(千円)	19,385,346	824,559,394	17,198,688	37,163,675	13,311,304	11,142,099	10,408,857	24,600,792	11,567,315
歳出総額(千円)	19,377,637	816,376,505	17,197,525	36,072,250	13,249,254	11,010,405	10,397,762	24,345,609	11,437,650
財政力指数(H12年度～H14年度の平均)	0.26	0.64	0.20	0.40	0.25	0.20	0.18	0.37	0.35
経常収支比率(%)	91.1%	87.0%	108.3%	79.0%	90.6%	103.7%	105.4%	95.3%	86.9%
公債費比率(%)	17.3%	16.6%	16.0%	17.9%	14.6%	17.0%	21.4%	19.8%	23.5%
起債制限比率(%) (H12年度～H14年度の平均)	12.9%	10.6%	14.5%	11.0%	12.0%	12.9%	17.1%	14.8%	16.4%
地方債残高(千円)	25,396,679	1,068,238,667	14,796,033	37,879,020	14,418,929	13,118,177	11,960,394	26,863,049	19,568,159
積立金残高(千円)	890,626	61,074,053	31,993	11,417,048	2,031,730	781,945	620,995	1,517,305	1,046,164
市税総額(千円)	2,341,510	268,215,394	1,067,298	7,884,019	1,794,994	1,003,232	1,033,875	4,600,402	2,250,778
人口1人当たり(千円)	78	145	74	94	89	65	80	99	109
個人市民税(千円)	747,534	78,850,559	314,533	2,448,376	395,592	317,560	239,230	1,377,582	606,219
人口1人当たり(千円)	25	43	22	29	20	21	18	30	29
法人市民税(千円)	164,079	28,561,800	61,557	736,949	96,286	76,791	75,913	412,041	182,068
固定資産税(千円)	1,042,275	111,346,408	515,912	3,311,546	1,050,712	432,627	615,376	1,988,590	1,140,639
議員条例定数(平成15年6月1日)	22	68	18	28	18	16	16	22	18
職員数(一般職員)(平成15年3月31日)	315	9,387	238	470	269	216	151	408	194
一般行政職平均給料月額(百円)(H14年度)	3,417	3,577	3,507	3,475	3,176	3,619	3,458	3,535	3,446

近隣・類似都市との比較

区 分	歌志内市	深川市	名寄市	根室市	伊達市
行政面積(km ²)	55.99	529.23	314.62	512.68	170.25
総人口(平成12年国勢調査)	5,941	27,579	27,760	33,150	35,042
総人口(平成15年3月31日)	5,799	26,265	26,902	32,641	35,864
人口密度(平成12年国勢調査)	106	52	88	65	206
世帯数(平成12年国勢調査)	2,579	10,945	11,219	12,222	13,843
1世帯当たり平均人数	2.2	2.4	2.4	2.7	2.6
第1次産業人口(平成12年国勢調査)	26	2,824	1,151	3,709	1,822
第2次産業人口(平成12年国勢調査)	697	2,606	2,563	4,567	3,575
第3次産業人口(平成12年国勢調査)	1,456	8,218	10,388	9,559	10,792
歳入総額(千円)	7,391,164	18,779,846	15,210,884	18,685,799	14,953,925
歳出総額(千円)	7,315,610	18,615,877	15,042,161	18,653,578	14,676,711
財政力指数(H12年度～H14年度の平均)	0.10	0.26	0.31	0.31	0.41
経常収支比率(%)	97.4%	89.8%	82.2%	98.1%	91.5%
公債費比率(%)	19.1%	16.7%	18.6%	19.3%	19.2%
起債制限比率(%) (H12年度～H14年度の平均)	14.6%	8.1%	13.2%	13.4%	15.0%
地方債残高(千円)	9,278,771	27,983,111	17,142,986	25,155,263	16,677,162
積立金残高(千円)	1,193,071	3,808,170	1,683,904	1,330,826	846,505
市税総額(千円)	249,241	2,395,682	2,647,623	2,974,548	3,204,014
人口1人当たり(千円)	43	91	98	91	89
個人市民税(千円)	97,298	737,645	936,753	1,130,494	1,023,623
人口1人当たり(千円)	17	28	35	35	29
法人市民税(千円)	28,105	189,986	257,951	278,911	230,206
固定資産税(千円)	80,926	1,076,725	1,040,876	1,053,929	1,479,765
議員条例定数(平成15年6月1日)	12	20	22	24	22
職員数(一般職員)(平成15年3月31日)	129	307	273	357	314
一般行政職平均給料月額(百円)(H14年度)	3,102	3,497	3,556	3,482	3,514

平成14年度決算状況

近隣・類似都市との比較

ごみ1人当たり排出量(H13年度:空知管内10市平均)

0.52 t

区 分		美唄市	札幌市	夕張市	岩見沢市	芦別市	赤平市	三笠市	滝川市
ごみ処理人口(処理区域人口(住基+外国人)~平成14年3月31日)		30,340	1,830,983	14,890	84,238	20,760	15,757	13,278	46,793
ごみ年間総収集量(t)(平成14年3月31日)		13,731	983,831	10,175	45,729	7,097	11,987	3,689	24,026
市民1人当たり排出量		0.45	0.54	0.68	0.54	0.34	0.76	0.28	0.51
ごみ年間総収集量(t)(平成14年3月31日)		13,731	983,831	10,175	45,729	7,097	11,987	3,689	24,026
焼却処理量		9,432	674,765	6,144	2,928				19,816
埋立処理量		4,299	222,749	3,784	42,446	7,097	10,198	3,689	3,923
ごみ収集率(%) (平成14年3月31日)		94.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%	100.0%
上水道普及率(%) (平成14年3月31日)		99.6%	99.7%	99.7%	100.0%	95.5%	91.6%	100.0%	100.0%
下水道普及率(%) (平成14年3月31日)		61.1%	99.3%	28.0%	90.2%	77.6%	67.4%	62.4%	91.1%
下水道普及率(%) (対行政区域内面積)(平成14年3月31日)		2.5%	21.5%	0.3%	10.4%	0.7%	2.7%	1.6%	11.9%
道路舗装率(%) (平成14年4月1日)		47.5%	74.4%	14.7%	56.6%	58.4%	67.3%	52.9%	58.1%
永久橋比率(%) (平成14年4月1日)		94.8%	99.9%	97.3%	99.0%	86.8%	100.0%	96.4%	98.4%
都市公園等数(市立)(平成14年3月31日)		17	2,572	17	175	43	42	43	66
都市公園等面積(m ² ,市立)(平成14年3月31日)		461,100	39,091,251	732,535	2,987,234	504,169	395,845	429,085	2,483,500
人口1人当たり面積(m ²)		21.6	22.6	65.8	35.5	67.0	49.9	43.5	53.1
公営住宅戸数(平成14年3月31日)		1,070	26,275	4,181	1,903	1,887	3,109	2,629	1,984
農業粗生産額(億円)(平成12年産)		83.8	42.8	30.1	96.9	34.7	7.6	16.1	49.2
工業出荷額(億円)(平成13年12月31日)		232.8	6,773.2	102.7	523.2	157.6	298.9	221.9	183.8
商業販売額(平成14年6月1日)		315.0	102,429.4	143.3	3,253.5	210.3	139.1	119.2	1,204.2
事業所数(平成13年10月1日)		1,370	77,605	881	3,585	939	681	588	2,426
議会費		7,315	1,041	12,681	3,715	8,063	10,005	10,271	4,351
総務費		66,510	31,409	217,137	53,779	72,867	59,918	173,716	50,073
民生費		147,039	115,522	205,768	90,384	159,345	170,318	186,637	100,444
老人福祉費		36,041	17,014	58,189	19,158	41,308	29,143	50,873	26,827
児童福祉費		19,495	21,551	20,896	18,023	33,116	13,346	11,598	18,869
衛生費		67,907	37,424	75,768	22,504	59,601	67,207	85,205	36,230
労働費		6,001	719	4,663	1,587	2,711	3,106	2,043	2,672
農林水産業費		52,871	1,115	10,092	19,116	26,661	18,391	14,132	16,889
商工費		32,177	49,120	246,719	18,763	51,106	39,870	46,600	21,311
土木費		178,420	99,763	328,651	113,993	92,707	130,116	162,324	138,944
消防費		18,073	12,782	36,422	11,480	23,076	31,165	32,988	15,061
教育費		50,574	43,887	60,301	51,032	54,844	55,912	52,842	44,991
社会教育費		5,140	5,598	10,714	7,461	9,517	14,300	10,984	6,590
公債費		74,202	49,064	142,128	59,119	90,490	97,664	149,180	74,316
その他		1,047	13,811	4,698	150	4,504	1,010	24	1,431
歳出合計		702,137	455,656	1,345,027	445,622	645,976	684,684	915,963	506,714
目的別経費の状況(H13年度決算)									
市民1人当たりの歳出額(円)									

近隣・類似都市との比較

区 分		砂川市	歌志内市	深川市	名寄市	根室市	伊達市
ごみ処理人口(処理区域人口(住基+外国人)～平成14年3月31日)		20,733	5,933	26,704	27,015	33,157	35,783
ごみ年間総収量(t)(平成14年3月31日)		9,973	3,880	10,966	15,160	19,487	12,654
市民1人当たり排出量		0.48	0.65	0.41	0.56	0.59	0.35
ごみ年間総収量(t)(平成14年3月31日)		9,973	3,880	10,966	15,160	19,487	12,654
焼却処理量					7,654	10,806	8,331
埋立処理量		8,719	3,580	10,283	7,506	8,460	3,534
ごみ収率率(%) (平成14年3月31日)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
上水道普及率(%) (平成14年3月31日)		99.5%	100.0%	92.5%	90.7%	94.5%	94.2%
下水道普及率(%)、行政区域内人口(平成14年3月31日)		92.0%	98.9%	67.7%	88.6%	70.7%	71.7%
下水道普及率(%)、行政区域内面積(平成14年3月31日)		9.9%	5.3%	1.0%	2.5%	1.2%	4.1%
道路舗装率(%) (平成14年4月1日)		41.2%	74.4%	51.8%	40.7%	36.1%	50.5%
永久橋比率(%) (平成14年4月1日)		97.3%	100.0%	98.0%	92.4%	100.0%	97.5%
都市公園等数(市立)(平成14年3月31日)		25	16	23	30	16	36
都市公園等面積(㎡、市立)(平成14年3月31日)		722,564	353,672	629,559	545,900	239,303	500,093
人口1人当たり面積(㎡)		163.9	59.6	26.4	21.3	8.1	14.0
公営住宅戸数(平成14年3月31日)		1,572	1,623	677	798	1,191	774
農業粗生産額(億円)(平成12年産)		20.0	0.2	126.3	50.5	46.4	90.0
工業出荷額(億円)(平成13年12月31日)		223.7	8.0	108.1	190.9	631.5	137.3
商業販売額(平成14年6月1日)		553.7	40.2	462.8	635.2	974.1	612.2
事業所数(平成13年10月1日)		1,085	273	1,388	1,363	1,923	1,665
議会費		8,161	16,231	6,640	6,884	5,863	5,725
総務費		62,773	114,238	77,423	51,338	58,859	44,377
民生費		105,068	326,151	127,561	94,826	101,096	108,005
老人福祉費		21,030	149,611	36,420	27,699	19,192	33,058
児童福祉費		17,571	12,422	23,036	20,810	31,385	18,662
衛生費		59,648	141,313	73,040	51,784	72,689	21,479
労働費		1,417	2,556	2,738	3,697	2,688	2,234
農林水産業費		10,673	3,712	51,088	38,876	32,718	16,148
商工費		8,837	273,457	20,522	35,362	10,662	15,242
土木費		134,708	235,062	117,212	86,702	91,522	69,413
消防費		23,151	41,992	27,714	18,653	20,587	23,525
教育費		36,269	68,370	125,423	99,809	55,485	35,032
社会教育費		9,331	16,732	28,919	11,265	10,883	9,434
公債費		104,164	200,447	91,653	81,922	86,522	52,564
その他		0	336	7,359	1,463	31	301
歳出合計		554,868	1,423,865	728,373	571,316	538,722	394,046

目的別経費の状況(H13年度決算)
市民1人当たりの歳出額(円)

近隣・類似都市との比較

区分	美唄市	札幌市	夕張市	岩見沢市	芦別市	赤平市	三笠市	滝川市	砂川市
保育所数(市立)(平成13年10月1日)	9	33	-	-	3	2	4	6	5
定員	405	2,390	-	-	282	105	195	435	300
保育所数(その他)(平成13年10月1日)	-	126	5	13	-	-	-	-	-
定員	-	11,379	195	930	-	-	-	-	-
幼稚園数(市立)(平成14年5月1日)	3	17	1	-	1	2	-	2	-
定員	315	2,090	70	-	140	200	-	240	-
幼稚園数(その他)(平成14年5月1日)	2	134	-	6	1	-	1	2	1
定員	210	30,396	-	1,200	165	-	120	500	240
小学校数(市立)(平成14年5月1日)	8	211	7	12	7	7	6	7	5
児童数	1,500	97,777	503	4,771	984	641	508	2,571	1,024
中学校数(市立)(平成14年5月1日)	6	107	5	7	3	4	4	4	2
生徒数	824	52,057	298	2,594	527	360	279	1,381	579
高等学校数(平成14年5月1日)	3	55	2	5	2	1	1	3	2
生徒数	1,328	56,157	305	3,469	643	173	155	2,018	688
市立図書館数(平成14年3月31日)	1	17	1	1	1	1	1	1	1
体育館数(市立)(平成14年3月31日)	4	13	2	2	2	1	3	2	2
陸上競技場数(市立)(平成14年3月31日)	1	6	1	1	1	-	1	1	1
野球場数(市立)(平成14年3月31日)	1	41	1	3	2	-	1	2	2
プール数(市立)(平成14年3月31日)	1	15	6	1	-	5	2	7	2
老人ホーム数(平成13年10月1日)	2	5	1	1	-	1	2	3	1
定員	169	300	90	50	-	50	188	300	100
うち養護老人ホーム数	1	1	1	-	-	-	1	1	-
定員	110	50	90	-	-	-	100	50	-
市立病院数(平成14年3月31日)	1	2	1	1	1	1	1	1	1
病床数(平成14年3月31日)	276	1,064	171	484	220	278	286	400	536
市立診療所数(平成14年3月31日)	-	22	3	1	-	-	3	2	1
市内病院・診療所数(平成13年10月1日)	12	1,398	9	58	14	10	9	32	12
市内医師数(平成12年12月31日)	78	5,043	18	149	37	35	26	89	59
市内歯科診療所数(平成13年10月1日)	15	1,133	6	47	8	6	5	25	10
歯科医師数(平成12年12月31日)	19	1,880	8	63	8	7	6	30	12

近隣・類似都市との比較

区分	歌志内市	深川市	名寄市	根室市	伊達市
保育所数(市立)(平成13年10月1日)	1	5	5	8	4
定員	45	165	310	610	360
保育所数(その他)(平成13年10月1日)	-	6	-	2	1
定員	-	225	-	100	60
幼稚園数(市立)(平成14年5月1日)	1	-	-	-	1
定員	105	-	-	-	100
幼稚園数(その他)(平成14年5月1日)	-	3	4	4	2
定員	-	225	640	810	335
小学校数(市立)(平成14年5月1日)	2	6	7	13	9
児童数	217	1,300	1,472	2,035	1,934
中学校数(市立)(平成14年5月1日)	1	5	3	7	7
生徒数	140	703	765	1,059	986
高等学校数(平成14年5月1日)	1	3	3	2	2
生徒数	88	981	1,042	1,022	1,148
市立図書館数(平成14年3月31日)	1	1	1	1	1
体育館数(市立)(平成14年3月31日)	2	2	3	-	2
陸上競技場数(市立)(平成14年3月31日)	-	1	1	-	-
野球場数(市立)(平成14年3月31日)	1	5	1	1	2
プール数(市立)(平成14年3月31日)	1	1	4	1	2
老人ホーム数(平成13年10月1日)	2	-	1	-	1
定員	150	-	100	-	100
うち養護老人ホーム数	1	-	-	-	1
定員	100	-	-	-	100
市立病院数(平成14年3月31日)	1	1	1	1	-
病床数(平成14年3月31日)	90	301	469	202	-
市立診療所数(平成14年3月31日)	2	4	-	5	-
市内病院・診療所数(平成13年10月1日)	6	21	12	15	25
市内医師数(平成12年12月31日)	5	69	68	32	75
市内歯科診療所数(平成13年10月1日)	3	17	12	13	18
歯科医師数(平成12年12月31日)	3	21	17	15	16

- * ●行政面積・総人口(平成14年3月31日及び平成12年国勢調査)、人口密度、産業別人口、ごみ年間総排出量(t)、ごみ年間総収集量(t)、焼却処理量、埋立処理量、ごみ収集率(%)、上水道普及率(%)、下水道普及率(%)、対行政区域内人口)、下水道普及率(%)、対行政区域内面積)、道路舗装率(%)、永久橋比率(%)、都市公園等数(市立)、都市公園等面積(m²、市立)、公営住宅戸数、農業粗生産額、工業出荷額、商業販売額、事業所数、目的別経費の状況(H13年度決算～市民1人当たりの歳出額)、保育所数・定員(市立)、保育所数・定員(その他)、幼稚園数・定員(市立)、
- 立病院数・病床数、市立診療所数は、「平成13年度市町村の財政概要」(財団法人北海道市町村振興協会)による。
- 総人口(平成15年3月31日)、歳入総額、歳出総額、財政力指数、経常収支比率、公債費比率、起債制限比率、地方債残高、積立金残高、市税総額、個人市民税、法人市民税、固定資産税、職員数(一般職員)、一般行政職平均給料月額(平成14年度決算カード(北海道市長会)による。
- 議員条例定数は各市の条例定数による。
- * 高等学校数及び生徒数は「平成14年度学校基本調査」による。
- * 市内病院・診療所数、市内医師数、市内歯科診療所数、市内歯科医師数は、「平成15年度北海道統計書」による。